



Surveillance Station ユーザー ガイド

バージョン 8.2 を基に

目次

第1章 : Surveillance Station を開始する

Surveillance Station のデスクトップ.....	4
-----------------------------------	---

第2章 : IP カメラの展開

IP カメラのインストール.....	6
カメラ機能の活用.....	11
イベントの検出の設定と通知の受信.....	17
大規模な展開.....	19

第3章 : カメラ フィードの監視

ライブ ビュー.....	24
ライブ ビュー レイアウトの構成.....	25
重要なイベントのスナップショットの撮影.....	25
ライブ ビュー分析で警告を受ける.....	26
PTZ コントロールとアクション規則を使用したスケジュール済みパトロールの設定.....	27
ライブ ビデオのYouTube へのストリーミング.....	30

第4章 : ビデオ録画の再生

タイムライン.....	31
マルチチャンネルの録画の表示.....	32
Smart Search.....	32
タイムライン フィルタ.....	33

第5章 : ビデオ録画の管理

ビデオ録画の管理.....	34
ビデオ アーカイブの管理.....	36
スマートタイム ラブス.....	39

第6章 : I/O モジュールに関する作業

I/O モジュールのインストール.....	40
I/O モジュール履歴の表示.....	41

第7章 : 通知

さまざまなチャンネルを使用した通知の受信.....	42
通知設定の構成.....	44

第8章 : アクション規則

アクション規則リストの設定.....	47
アクション規則履歴の追跡.....	49
アクション規則の保存の変更.....	50

第 9 章 : Archive Vault

アーカイブ化タスクの構成.....	51
アーカイブ化タスクの帯域幅コントロールの構成.....	55

第 10 章 : ライセンス

Surveillance Station へのライセンスのインストール.....	56
ライセンスの購入.....	57

第 11 章 : CMS

CMS サーバーの操作.....	58
CMS フェイルオーバー.....	62

第 12 章 : その他の機能

Home Mode.....	64
E マップ.....	66
スナップショット.....	67
ログ.....	68

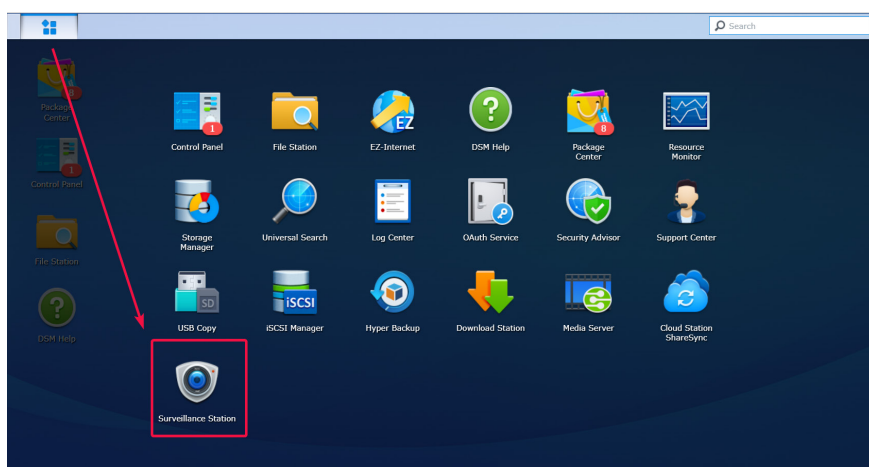
Surveillance Station を開始する

Surveillance Station は、プロフェッショナル向け NVR（Network Video Recording）パッケージです。既存の監視装置を Surveillance Station と組み合わせることで現場の状況を確認できるようになり、的確な情報に基づいて自宅やオフィス環境を効率的に保護できます。

この章では、Synology DiskStation Manager（DSM）または NVR のハードウェアの設定と設置が完了していることを前提に、Surveillance Station のデスクトップについて見ていきます。

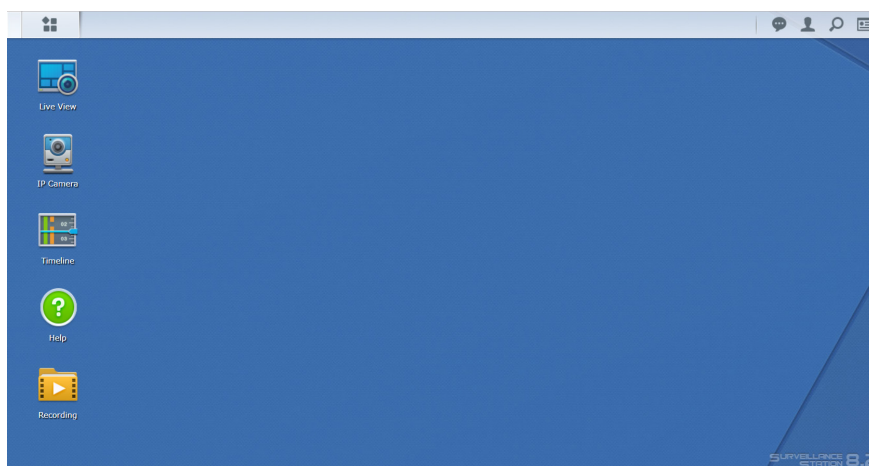
Surveillance Station のデスクトップ

Surveillance Station 8.2（またはそれ以降）が Synology NAS/NVR に正常にインストールされていることを確認したら、[メインメニュー]>[Surveillance Station] を選択して Surveillance Station を起動します。



デスクトップ

Surveillance Station が起動されると、デスクトップが表示されます。デスクトップは、アプリケーションやパッケージウィンドウが表示される場所です。頻繁に使用するアプリケーションへのショートカットを作成することもできます。



タスクバー

スクリーンの上にはタスクバーがあり、次のようなアイテムが含まれています。



- 1 デスクトップを表示**：開いているすべてのアプリケーション ウィンドウが最小化されます。
- 2 メインメニュー**：Surveillance Station のアプリケーションを表示し、開きます。また、アイコンをドラッグ・アンド・ドロップでデスクトップにショートカットを作成することもできます。
- 3 アプリケーションを開く**：開いたアプリケーションが表示されます。アプリケーションを右クリックしてタスクバーに固定しておくことで、簡単にアクセスできるようになります。
- 4 安全ロック**：CMS ペアリング状況をロック / ロック解除します。これは、Surveillance Station が記録サーバーとして設定されている場合にのみ表示されます。
- 5 ジョイスティック**：接続したジョイスティックにペアリングされたホットキーを構成します。これは、[アドオン] > [ジョイスティック] でジョイスティックサポートが有効になっている場合にのみ表示されます。
- 6 通知**：カメラが接続を解除されたり、その他の状態の変化を見ることができます。
- 7 オプション**：ログアウト（アプリケーションポータルを使ってログインしている場合）または個人のアカウントオプションをカスタマイズします。
- 8 検索**：特定のアプリケーションや Surveillance Station のヘルプを素早く探すことができます。

IP カメラの展開

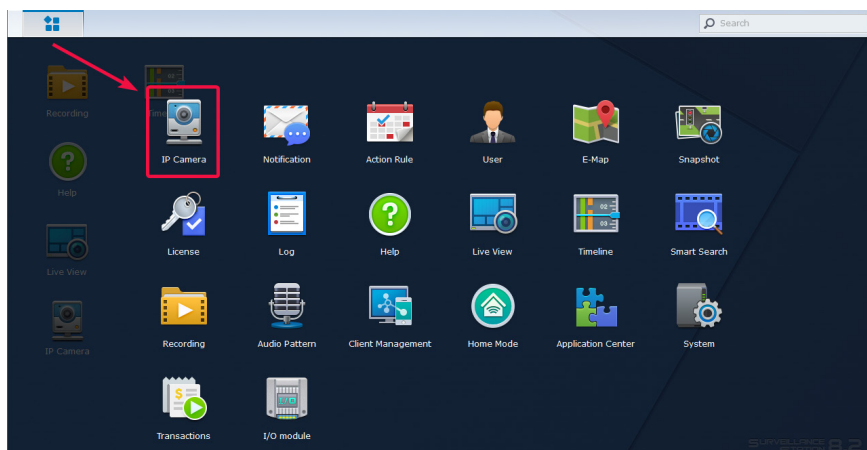
Surveillance Station では、管理を強化するための IP カメラの構成と整理が簡単です。この章では、IP カメラの追加 / 削除方法を説明した後、デバイスの設定、録画スケジュール、イベント検知などの IP カメラ機能を見ていき、主なカメラ グループ化機能について紹介します。

IP カメラのインストール

Synology 対応 IP カメラの Surveillance Station への追加

Surveillance Station はデバイスの互換性に優れており、6000 種類を超える IP カメラに対応しています。カメラをインストールする前に、「[IP カメラ サポート リスト](#)」を参照して、お使いのデバイスが対応になっているかどうかを確認してください。対応になっていなかった場合でも、「[サポート リストにない IP カメラの追加](#)」または「[ユーザー定義の IP カメラの追加](#)」を試すことができます。

- 1 お使いの Synology デバイスと同じローカルエリアネットワークに接続されている IP カメラの電源をオンにします。
- 2 Surveillance Station の [**メインメニュー**] > [**IP カメラ**], を選択します。



- 3 [**追加**] > [**カメラの追加**] を選択して、[**カメラ ウィザードを追加**], を起動します。
- 4 構成を素早く簡単に済ませたい場合は、[**クイックセットアップ**] を選択し、[**次へ**] をクリックします。
- 5 [**検索**] アイコンをクリックして、ローカルエリアネットワークに接続されているすべての IP カメラを検索します。

Add Camera Wizard ×

Information

Name:

IP address: 🔍

Port:

Brand:

Camera model:

Username:

Password:

注意：名前、IP アドレス、ポート、製造元、カメラモデル、ユーザー名、パスワードなど、カメラ情報を手動で入力することもできます。

6 [カメラ検索結果]>[Synology 対応カメラ]から、Surveillance Station に追加する IP カメラを選択し、**[OK]** をクリックします。

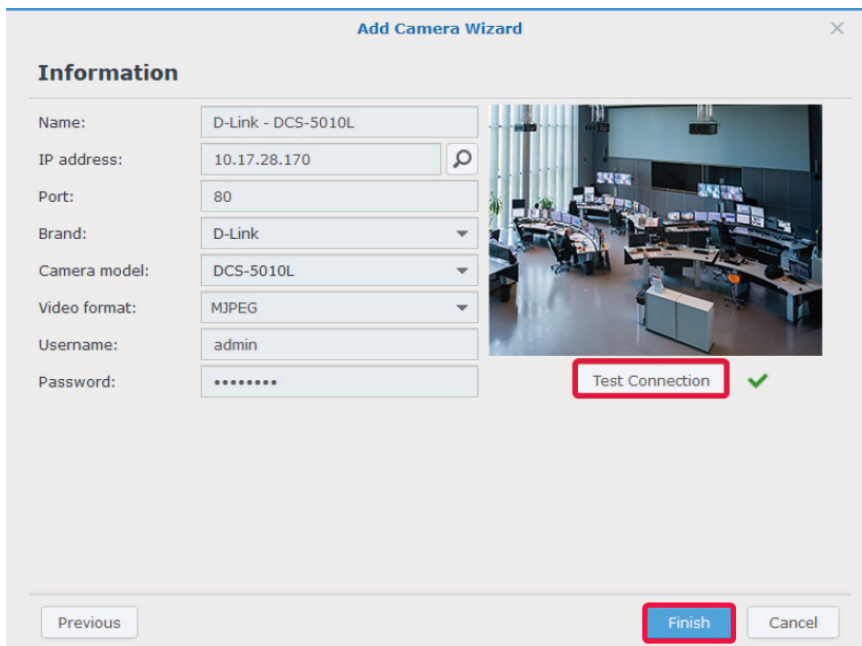
Camera search result ×

Synology Supported Cameras | General Interface (ONVIF) 🔍 Search

Brand	Model	IP Address	Port	MAC Address
AXIS	P1346	10.17.28.48	80	00:40:8C:C5:13:C0
D-Link	DCS-5010L	10.17.28.170	80	28:10:7B:0A:27:08

Searching...

- 7 **[テスト接続]**をクリックして、IPカメラが正しく構成されていることを確認します。**[終了]**をクリックして、インストールを完了します。



Add Camera Wizard

Information

Name: D-Link - DCS-5010L

IP address: 10.17.28.170

Port: 80

Brand: D-Link

Camera model: DCS-5010L

Video format: MJPEG

Username: admin

Password: *****

Test Connection ✓

Previous Finish Cancel

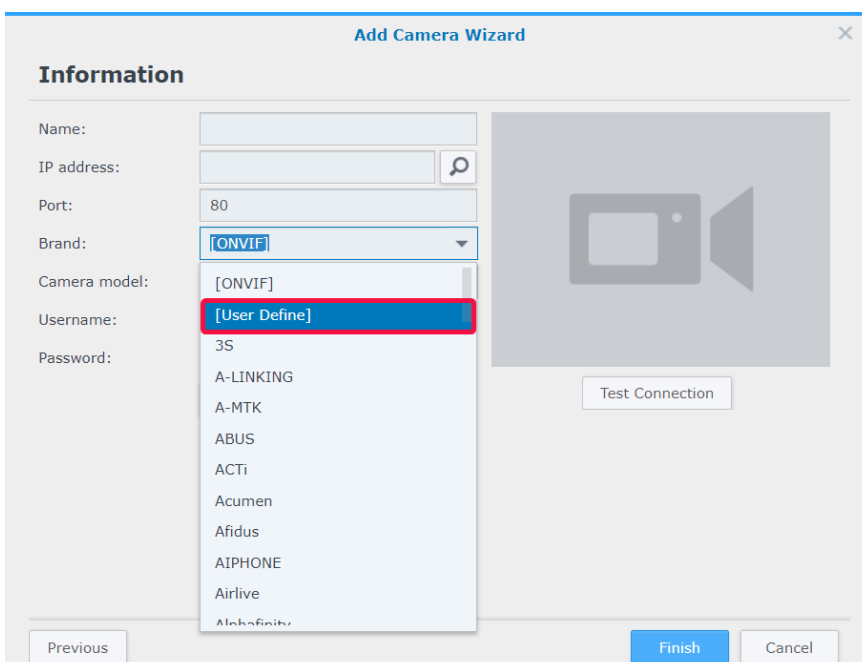
IPカメラで Surveillance Station の各種ネットワークビデオ録画機能を操作できるようになりました。IPカメラのその他の設定を構成するには、[Surveillance Station のヘルプ](#)で該当する説明を参照してください。

注意：デフォルトでは、Synology NAS には無償ライセンスが2つ、NVR には実際のモードに応じてプレインストールされたライセンスが複数、それぞれ付属します。

ユーザー定義の IP カメラの追加

[ユーザー定義]機能は、最大限のデバイス互換性を実現します。Surveillance Station への各種ネットワークビデオスリーミングの接続を試すことができます。

- 1 「**Synology 対応 IP カメラの Surveillance Station への追加**」の手順1～5に従います。
- 2 **[製造元]**ドロップダウンメニューから**[ユーザー定義]**を選択します。



Add Camera Wizard

Information

Name: []

IP address: []

Port: 80

Brand: [ONVIF]

Camera model: [ONVIF]

Username: [User Define]

Password: 3S

A-LINKING

A-MTK

ABUS

ACTi

Acumen

Afidus

AIPHONE

Airlive

AlphaCity

Test Connection

Previous Finish Cancel

- 3 名前を入力し、ファイル転送の[タイプ]を選択し、[パス]を[ユーザー名[:パスワード]@]IP:ポート/ビデオパスの形式で設定します。ご質問はカメラのメーカーにお問い合わせください。

Add Camera Wizard

Information

Name: User Define

Brand: [User Define]

Type: Streaming - RTSP

Path: rtsp:// admin:123456@10.13.22.38

Test Connection

*Please enter the path format as follows: rtsp://[username[:password]@]IP:port/video_path

Previous Finish Cancel

- 4 [テスト接続]をクリックして、IPカメラが正しく構成されていることを確認します。[終了]をクリックして、インストールを完了します。

サポートリストにないIPカメラの追加

Synology は、ONVIF へのメンバーシップを確保しており、対応モデル以外にもすべての ONVIF プロトコルカメラに対応しています。このため、サポートリストにないカメラでも、機能や設定を自動で読み込むことができます。

- 1 「Synology 対応 IP カメラの Surveillance Station への追加」の手順 1 ~ 5 に従います。
- 2 以下のいずれかを行います。
 - a [カメラ検索結果]>[一般のインターフェイス (ONVIF)]で、追加する IP カメラを選択し、[OK]をクリックします。

Camera search result

Synology Supported Cameras General Interface (ONVIF) Search

Brand	Model	IP Address	Port	MAC Address
ONVIF	MOVE_VD1A-4-IR	10.17.48.103	80	00:03:C5:C0:03:DF
ONVIF	FLEXIDOME_IP_starligh...	10.17.52.11	80	00:07:5F:95:C0:9F
ONVIF	DS-2CD3T45-I5	10.17.52.113	80	BC:AD:28:60:06:A0
ONVIF	P1428-E	10.17.52.119	80	AC:CC:8E:5A:5F:27
ONVIF	O4FD5M	10.17.52.124	80	5C:F2:07:30:2E:D0
ONVIF	IP3M-HX2B	10.17.52.139	80	9C:8E:CD:0A:8B:2B
ONVIF	IP4M-1028B	10.17.52.140	80	9C:8E:CD:0D:F5:2D
ONVIF	A8004-VE	10.17.52.145	80	AC:CC:8E:30:4F:64
ONVIF	SDB362	10.17.52.151	80	00:02:D1:23:40:26
ONVIF	F9816P	10.17.52.154	888	00:62:6E:65:D8:A2
ONVIF	DS-2CD8254F-EI	10.17.52.165	80	00:40:48:AD:7C:7A
ONVIF	P1428-E	10.17.52.167	80	AC:CC:8E:5A:2B:73
ONVIF	GV-FER5700	10.17.52.170	80	00:13:E2:FF:1F:BE
ONVIF	IP8331	10.17.52.174	80	00:02:D1:18:0E:99

Searching... Search OK Cancel

- b [製造元] ドロップダウンメニューから [ONVIF] またはお使いのカメラの製造元名を選択し、[カメラモード] ドロップダウンメニューから [全機能] または [ストリーミング専用] を選択します。

The screenshot shows the 'Add Camera Wizard' dialog box with the 'Information' tab selected. The 'Brand' dropdown menu is set to '[ONVIF]' and the 'Camera model' dropdown menu is set to 'All functions'. A red rectangular box highlights these two dropdown menus. Other fields include 'Name' (ONVIF_1), 'IP address' (10.17.28.106), 'Port' (80), 'Username', and 'Password'. There are 'Load Capability' and 'Test Connection' buttons. At the bottom, there are 'Previous', 'Finish', and 'Cancel' buttons.

- 3 ユーザー名とパスワードを入力します。
- 4 [負荷容量] をクリックします。デバイスが正常に接続されると、緑色のチェックが表示されます。カメラモデルに応じて、より多くの設定が必要になることがあります。

The screenshot shows the 'Add Camera Wizard' dialog box with the 'Information' tab selected. The 'Load Capability' button is highlighted with a red rectangular box and has a green checkmark next to it. The 'Video format' dropdown menu is set to 'H.264'. The 'Username' field is 'admin' and the 'Password' field is masked with dots. The 'Test Connection' button is visible. At the bottom, there are 'Previous', 'Finish', and 'Cancel' buttons.

- 5 [テスト接続] をクリックして、IP カメラが正しく構成されていることを確認します。[終了] をクリックして、インストールを完了します。

IP カメラの削除

IP カメラを Surveillance Station から削除するには、**[IP カメラ]** アプリケーションでターゲットカメラを見つけ、**[削除]** をクリックします。以前の録画を保持するか削除するかを決定するように求められます。

注意：

1. 削除されたカメラの設定も消去されます。
2. 複数選択する場合は、**Shift** キーまたは **Ctrl** キーを押しながら選択します。

IP カメラの無効化

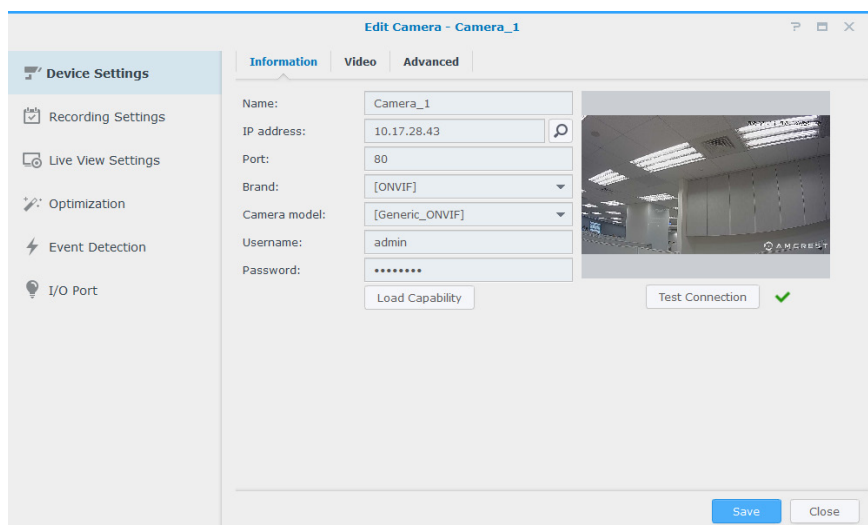
特定のカメラとの接続を一時的に終了する場合は、**[IP カメラ]** でカメラを選択し、**[有効]** > **[無効]** をクリックします。サービスを再開するには、**[有効]** > **[有効]** をクリックします。

カメラ機能の活用

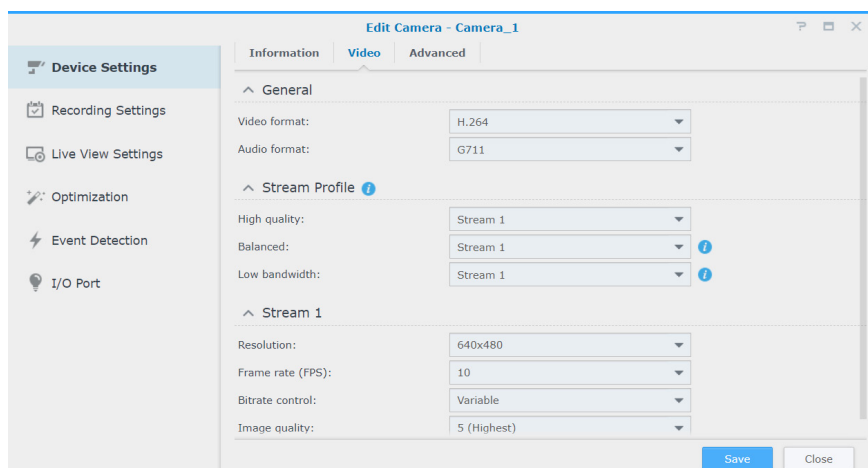
IP カメラを設定したら、設定の微調整に進んで録画環境にできるだけ合わせるすることができます。**[IP カメラ]** に移動し、ターゲットカメラを選択し、**[編集]** > **[編集]** をクリックして詳細な構成を行います。

デバイス設定

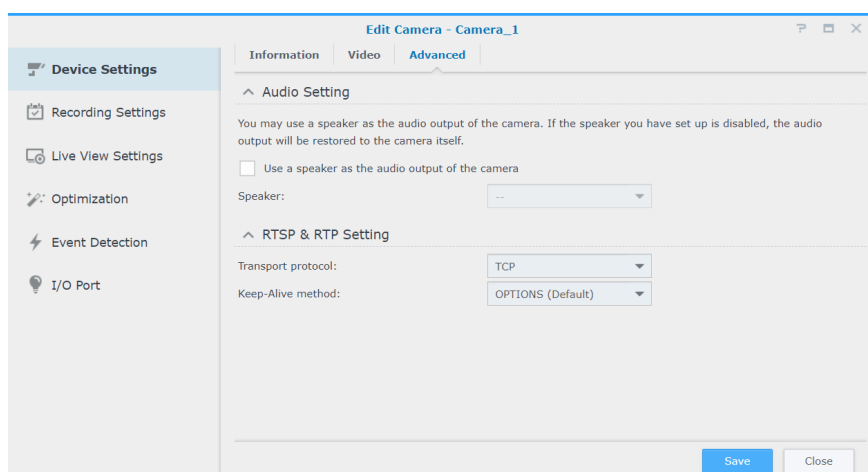
[デバイス設定] の **[情報]** タブには、一般的なカメラ情報を確認および変更するためのオプションが用意されています。



[ビデオ]タブでは、録画形式の調整や[ストリームプロファイル]の設定を行うことができます。



[詳細設定]タブでは、音声やビデオの転送プロトコル設定を変更できます。

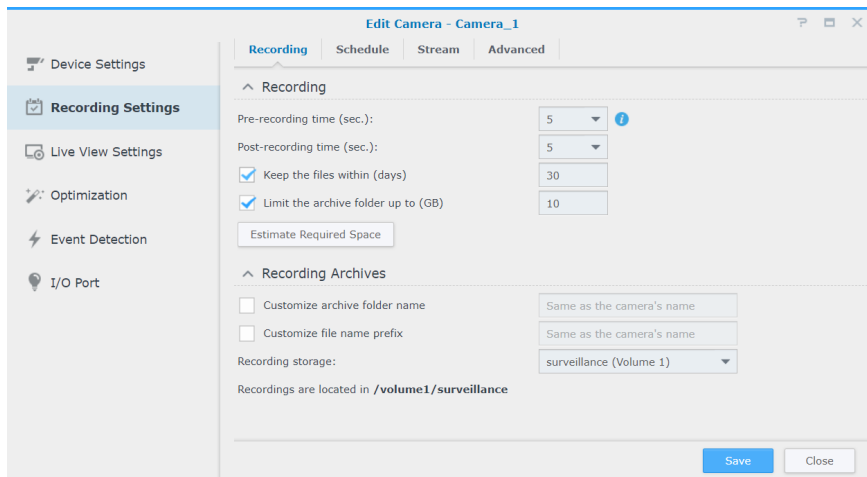


録画設定

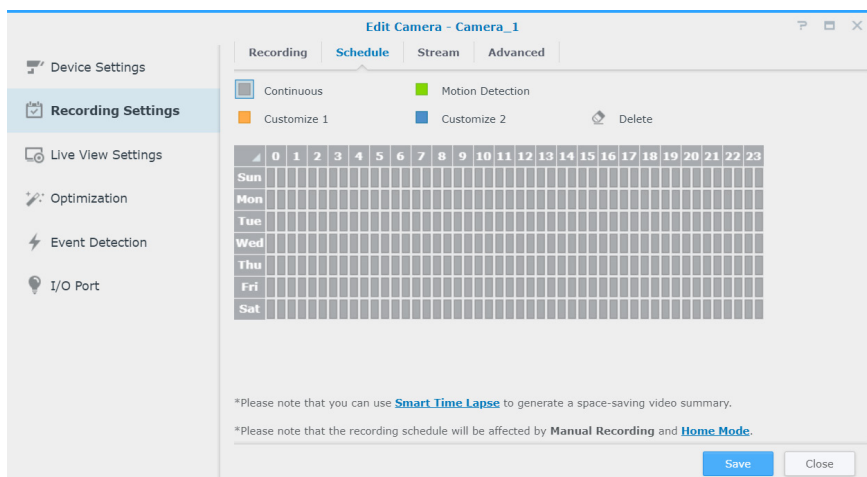
[録画設定]では、録画時間の編集、録画ファイルの長さの変更、ファイル名やフォルダ名の変更を行うことができます。

[録画]タブでは、録画設定とアーカイブ設定を変更できます。

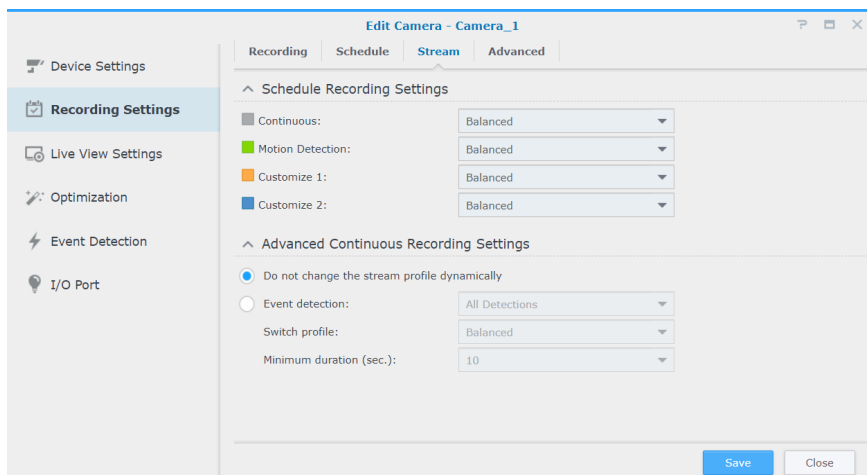
- ・ **事前録画時間 / 事後録画時間 (秒)** : 追加のフッター用に前後に延長する時間を設定します。
- ・ **ファイルを保持する日数** : 録画を保持する期間を指定します。指定した時刻の範囲以前に保存された録画は、自動的に削除されます。
- ・ **アーカイブフォルダをこれ以下に限定する (GB)** : 録画をアーカイブするためのストレージスペースの上限サイズを指定します。指定した上限サイズに達すると、最も古い録画が新しい録画で上書きされます。
- ・ **[予想必要スペース]** をクリックすると、カメラが現在の設定で連続記録を実行するために必要となりうるストレージスペースが見積もられます。



[スケジュール]タブでは、さまざまな録画モードをさまざまな時間帯に適用できます。スケジュールを設定するには、まず機能を選択し、次にタイムテーブル内でマウスをドラッグするか、または個々のグリッドセルをクリックして変更を適用します。グリッドのセル1つずつが30分を表します。

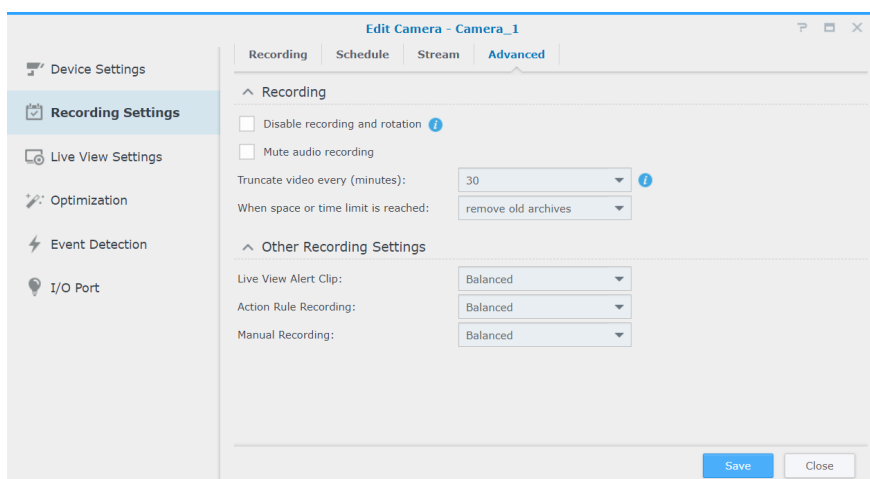


[ストリーム]タブでは、個別のストリーム設定をニーズに合わせて各録画タイプに適用できます。[高度な連続記録]機能を使用すると、通常の録画の保存時は低解像度を設定しておき、イベント発生時に高解像度に切り替えることができます。これにより、ストレージスペースの使用効率を高めながら、ストレージコストを大幅に節約できます。



[詳細設定] タブでは、録画とローテーションの無効化、ミュート、設定した時間でのビデオの切り捨て、ストレージスペースを使い果たした場合のアクションの指定、記録タイプへのストリーム設定の適用を行うことができます。

- [録画とローテーションを無効にする] にチェックマークが付いている場合、以下の設定が適用されます。
 - 録画スケジュール、手動録画、エッジ録画、および [アクション規則] の関連録画イベントは無効になります。
 - **ライブビュー**：ライブビュー分析が通常どおり動作している状態でも、アラート設定を構成できます。アラート録画もトリガーできます。
 - **アクション規則**：アクション「録画開始」とともに規則がトリガーされると、録画は開始されません。
- アーカイブのローテーション設定を構成するには、次のいずれかを選択します。
 - **古いアーカイブを削除**：スペースと時間が上限に達すると、新しく保存した録画のためのスペースを確保するために、最も古い録画が削除されます。
 - **録画中止**：スペースと時間が上限に達すると、Surveillance Station は自動的に録画を停止します。

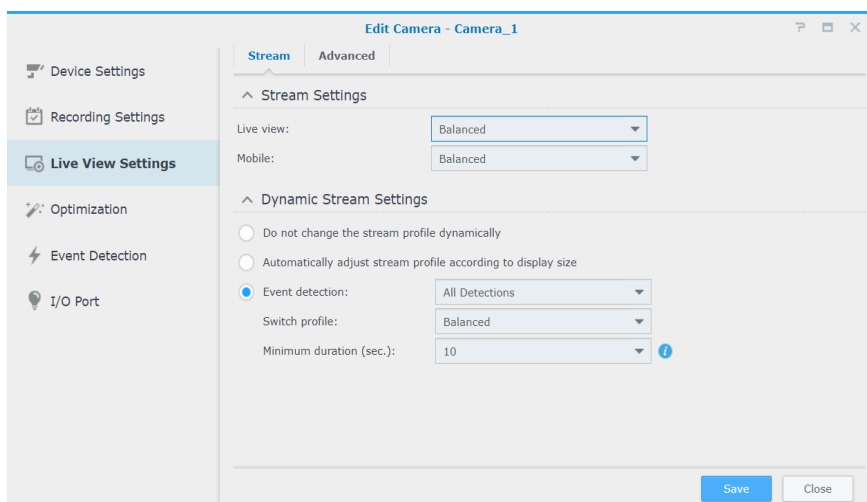


ライブビュー設定

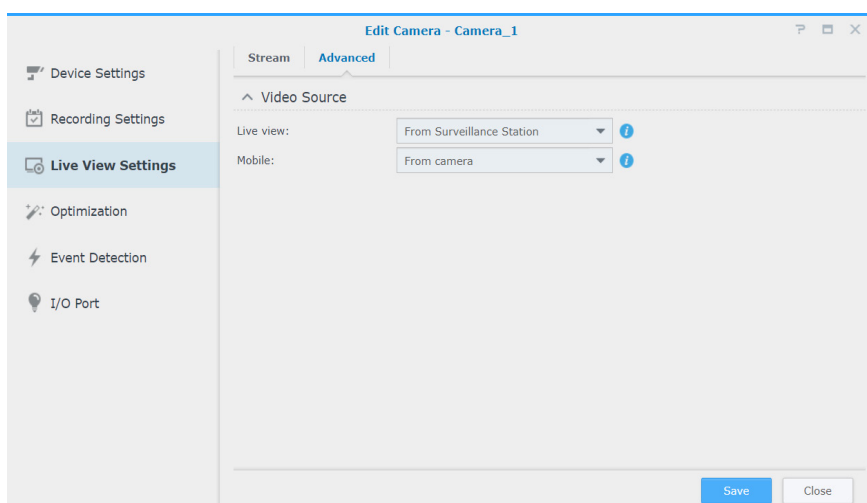
[ライブビュー設定] では、[ライブビュー] と [モバイル] のストリーム設定を構成できます。

[動的ストリーム設定] では、動的なストリーム プロファイル調整をニーズに合わせて設定できます。

- 自動調整を行うストリーム プロファイルを必要としない場合は、[ストリームプロファイルを動的に変更しないでください] にチェックマークを付けます。
- [ディスプレイサイズに応じてストリームプロファイルを自動調整する] にチェックマークを付けると、ライブビューのフィールドの表示サイズやストリーム解像度の設定に従って、高品質でバランスの良い低帯域幅のストリーム設定に自動で切り替わります。
- カスタマイズで最善の結果を得るには、[イベントの検出] ドロップダウン リストから 1 つ以上の条件を選択し、理想的な [プロファイルの切り替え] と [最短所要時間 (秒)] を設定します。

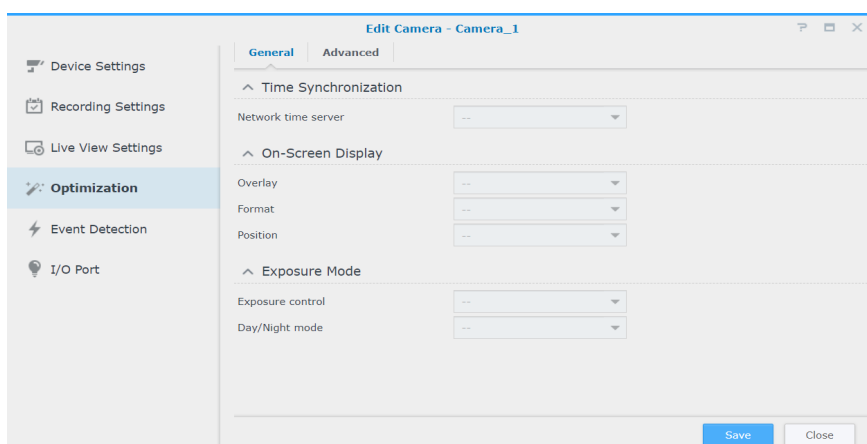


[詳細設定]タブでは、ライブビューの[ビデオソース]を調整できます。

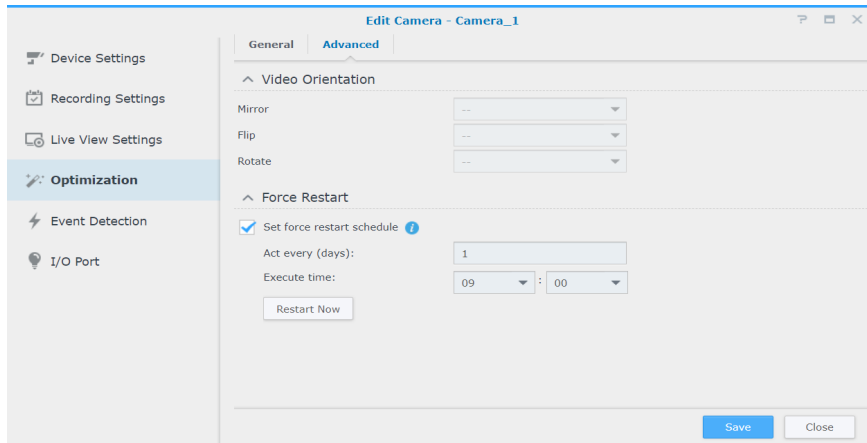


最適化

[最適化]>[全般]で、[時間同期]、[露出モード]、[オンスクリーンディスプレイ]などさまざまな設定を環境に対応できるように調整できます。

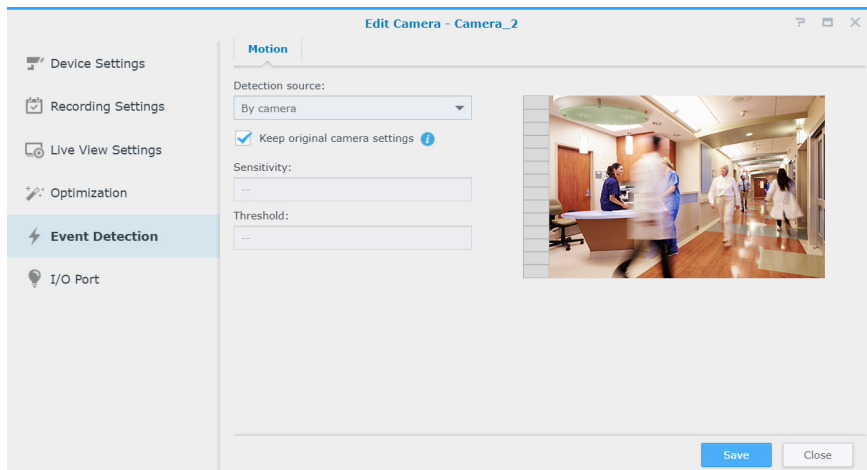


[詳細設定]タブでは、[ビデオの向き]設定が用意されており、録画画像をニーズに合わせて設定できます。最適なパフォーマンスを維持するためにカメラを定期的に再起動する必要がある場合は、**[強制再起動スケジュールを設定]**にチェックマークを付けて、必要な設定を行います。



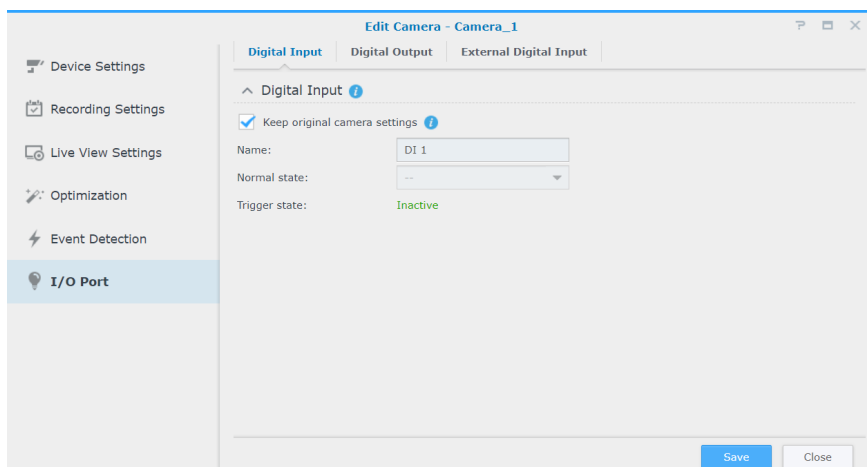
イベントの検出

[イベントの検出] ページには、いくつかの検出モードが用意されています。カメラがこのような機能に対応している場合、[モーション]、[ACAP VMD] (AXIS Camera Application Platform Video Motion Detection)、[オーディオ]、[改ざん]、[PIR] (パッシブ赤外線)、[ACAP アプリ] タブが表示され、ユーザーが設定を構成できます。イベントの検出を設定する手順の詳細については、次の「イベントの検出の設定と通知の受信」セクションを参照してください。



I/O ポート

[I/O ポート] ページには、デジタル入出力の設定を変更するためのオプションが用意されています。カメラがこの機能に対応している場合、該当するタブが表示されます。

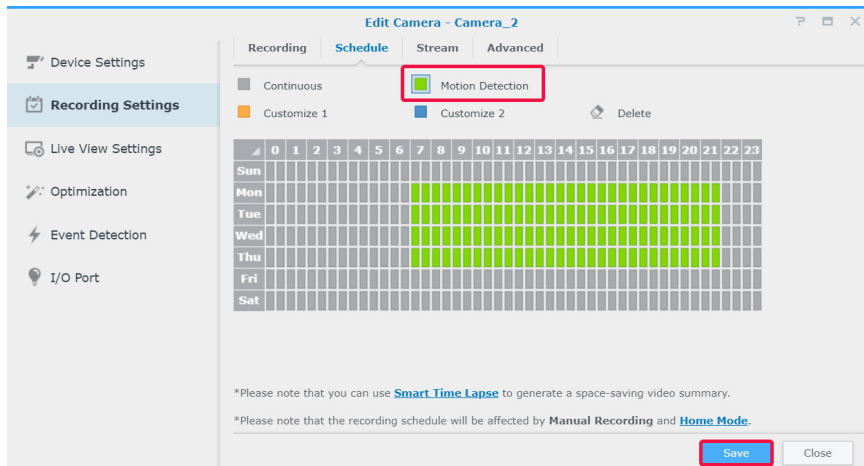


IP カメラの設定の詳細と手順については、Surveillance Station の [ヘルプ] > [IP カメラ] > [カメラを設定] の該当セクションを参照してください。

イベントの検出の設定と通知の受信

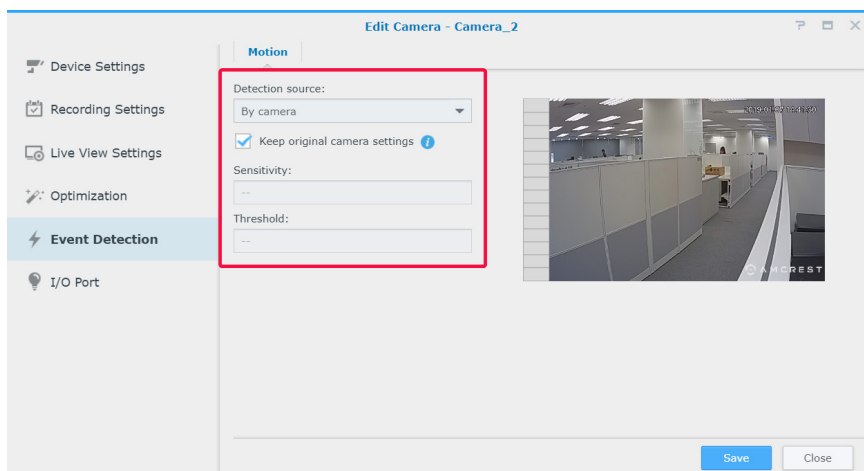
カメラが該当する機能に対応している場合、[イベントの検出]で特定のイベントの発生時にIPカメラで録画するようにトリガーできます。次のセクションでは、完全セットアップを見ていく例として**動作検出**を選択します。

- 1 [IPカメラ]で、デバイスが正しく設定されていることを確認します。
- 2 [編集]>[録画設定]>[スケジュール]に移動して理想的なタイムテーブルを設定し、[保存]をクリックします。

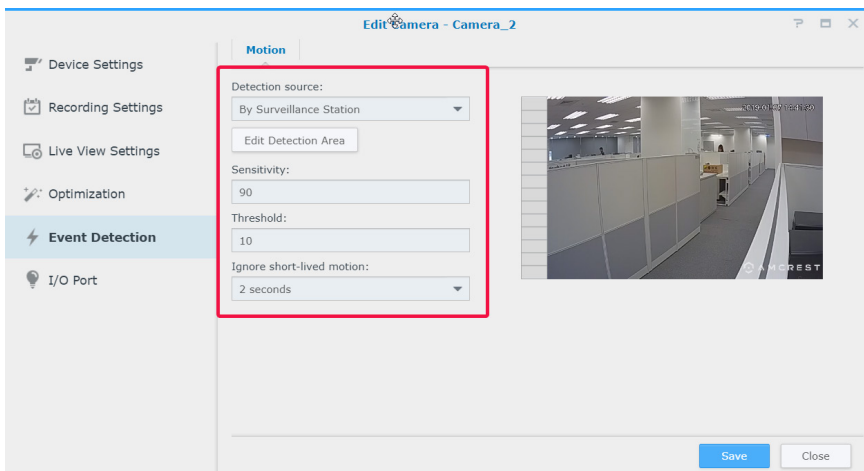


- 3 [イベントの検出]>[モーション]に移動し、**検出元**を選択します。

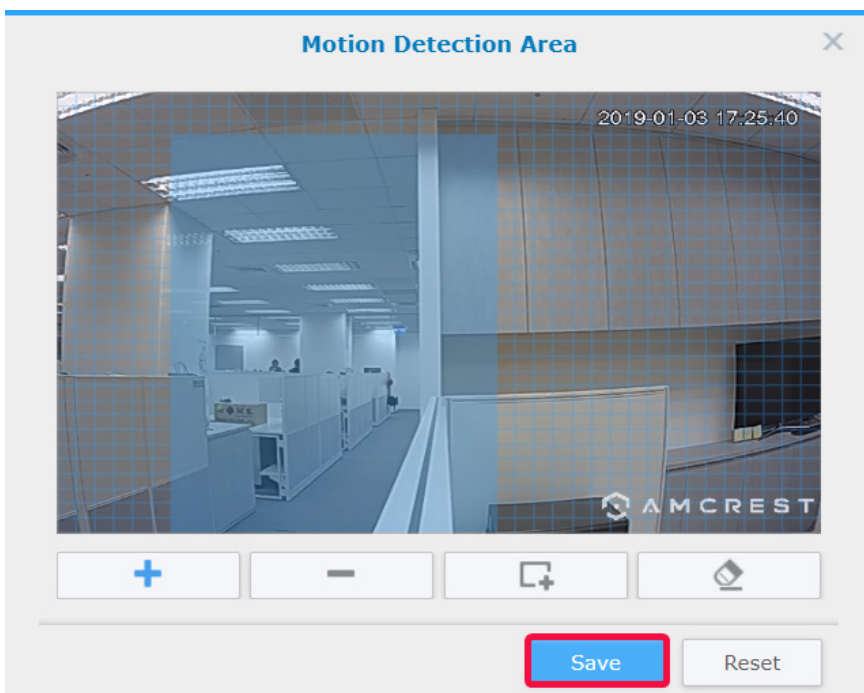
- デバイス内蔵の動作検出機能を使用する場合は、[カメラによる]を選択します。[元のカメラ設定を維持する]にチェックマークを付けて、現在のカメラ設定を適用するか、またはこのチェックボックスにチェックマークを付けずに、[検出範囲]、[感度]、[履歴]、[しきい値]、[オブジェクトサイズ]、[トリガーの割合]（使用できるパラメータは、カメラの機能によって異なります）の値を微調整します。



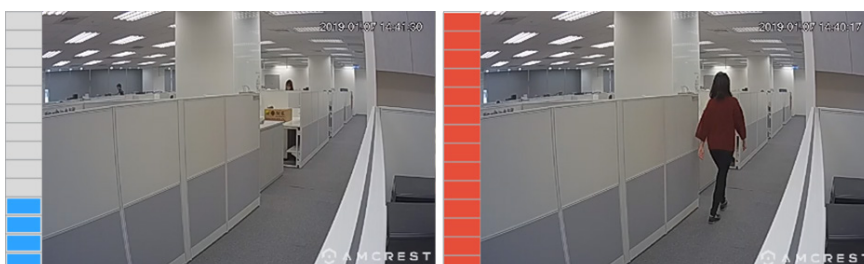
- [Surveillance Station による]では、より詳細かつ高精度に設定できます。また、Surveillance Station をアップデートすると、それに応じて検出の精度も上がります。これは、ハードウェアのパフォーマンスとデバイスのビデオ画質を維持する上で役立ちます。



- 4 **[モーション検出エリアの編集]**をクリックし、[+]と[-]でターゲットエリアの追加と削除を行い、**[保存]**をクリックします。

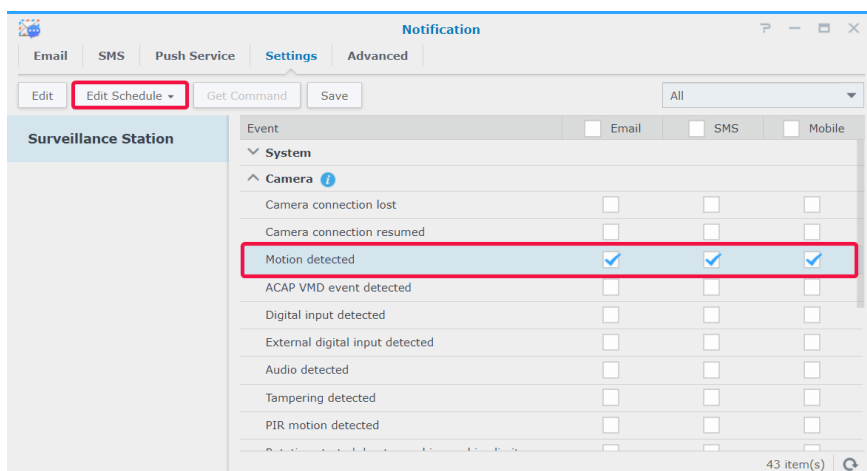


- 5 次のパラメータを変更します。
- **感度**：一連のフレームの間で差がどの程度大きければ動作検出がトリガーされるかを決定します。値が大きいほど、動作検出がトリガーされやすくなります。割合の値は、1～99 (%)で指定します。
 - **しきい値**：動作検出のしきい値。値が大きいほど、それだけ大きい動きがあった場合に動作検出がトリガーされます。割合の値は、1～99 (%)で指定します。
 - **短時間のモーションを無視**：ちょっとした間のモーションを無視します。値が大きいほど、動作検出がトリガーされるのに長い動作時間が必要となります。
- 6 **[保存]**をクリックして、設定を適用します。設定が期待に当たっているかどうかを確認するために、動作検出のトリガーを試すことができます。左のバーは、検出されたモーションのレベルを示します。青は検出されたモーションがしきい値以下であることを意味し、赤は検出されたモーションが録画をトリガーしたことを示します。

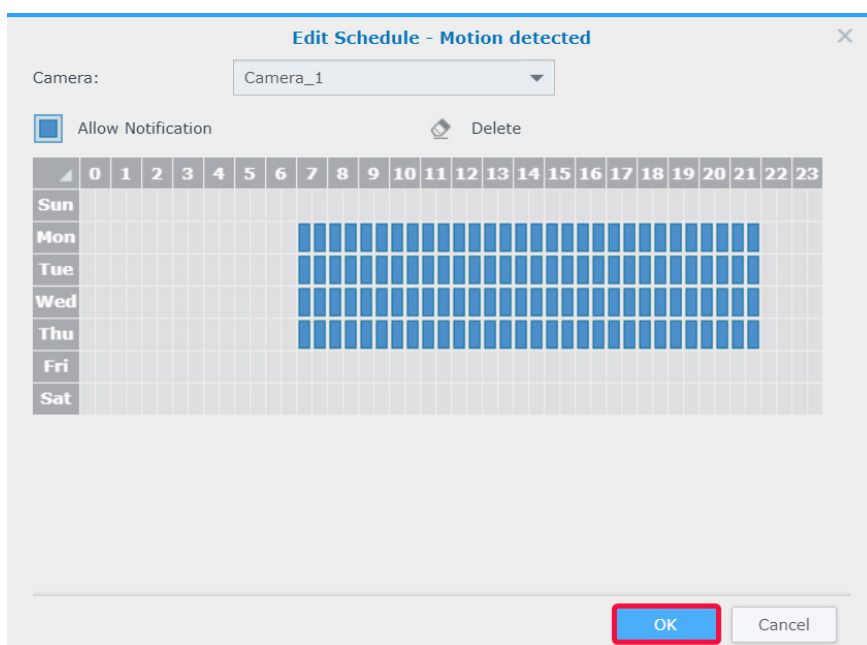


7 [メインメニュー]に移動し、[通知]を起動します。

8 [設定]タブで、通知方法 ([電子メール]、[SMS]、[モバイル]) を選択し、[スケジュールを編集]>[編集]をクリックします。



9 スケジュールを変更し、[OK]をクリックして設定を適用します。



大規模な展開

マルチカメラ環境に対応できるよう、[IPカメラ]には、管理効率を高めるのに役立つカメラグループ化機能や、設定のコピーを管理できるインポート/エクスポート構成機能も用意されています。

カメラの一括追加

カメラの一括追加ウィザードでは、新しいカメラを一度に複数追加できます。

- 1 お使いの Synology デバイスと同じローカルエリアネットワークに接続されている IP カメラの電源をオンにします。
- 2 Surveillance Station の [メインメニュー]>[IPカメラ] を選択します。
- 3 [追加]>[バッチを追加] を選択して、[カメラの一括追加ウィザード] を起動します。

- 4 [クイックセットアップ]または[完全セットアップ]を選択し、[次へ]をクリックします。
- 5 カメラのインターフェイスを選択し、[次へ]をクリックします。

The screenshot shows the 'Batch Add Camera Wizard' dialog box with the title 'Batch Add Camera Wizard' and a close button (X) in the top right corner. The main heading is 'Camera Interface'. Below it, the text 'Select a camera interface:' is followed by two radio button options: 'Synology Supported Cameras' (which is selected) and 'General Interface (ONVIF)'. At the bottom of the dialog, there are three buttons: 'Previous', 'Next' (highlighted with a red box), and 'Cancel'.

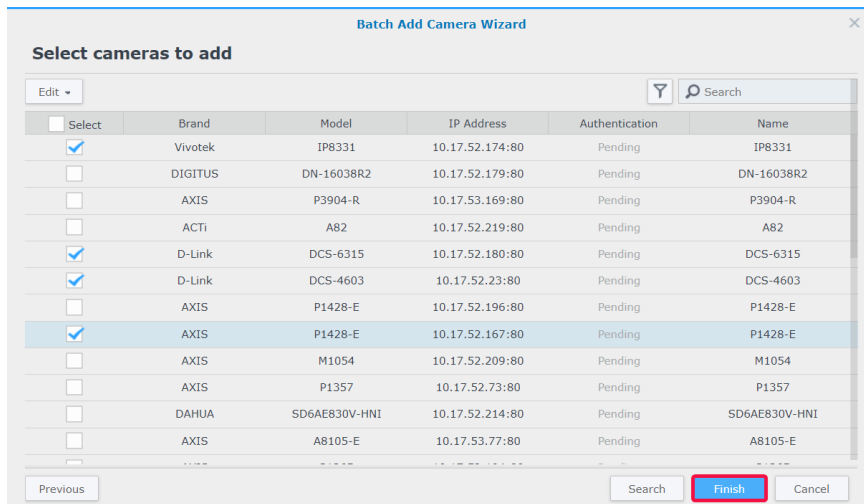
- 6 カメラの設置先となるサーバーを選択し、[次へ]をクリックします。

The screenshot shows the 'Batch Add Camera Wizard' dialog box with the title 'Batch Add Camera Wizard' and a close button (X) in the top right corner. The main heading is 'Select a server'. Below it is a table with the following data:

	Name	IP Address	Device	Licenses
<input type="radio"/>	Local Host [DS1819+]	10.17.52.130	7 / 40	2
<input checked="" type="radio"/>	[DS713+]	10.17.53.6	3 / 25	42

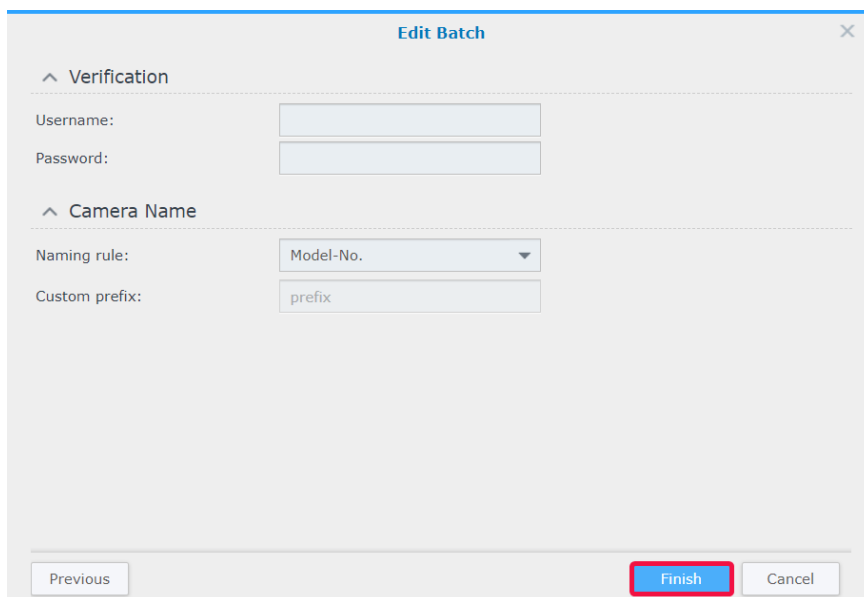
At the bottom of the dialog, there are three buttons: 'Previous', 'Next' (highlighted with a red box), and 'Cancel'.

- 7 追加するカメラを選択し、[完了]をクリックします。



8 **【編集】**をクリックし、表示された画面で、カメラの**【ユーザー名】**と**【パスワード】**を入力し、**【ネーミング規則】**を編集します。

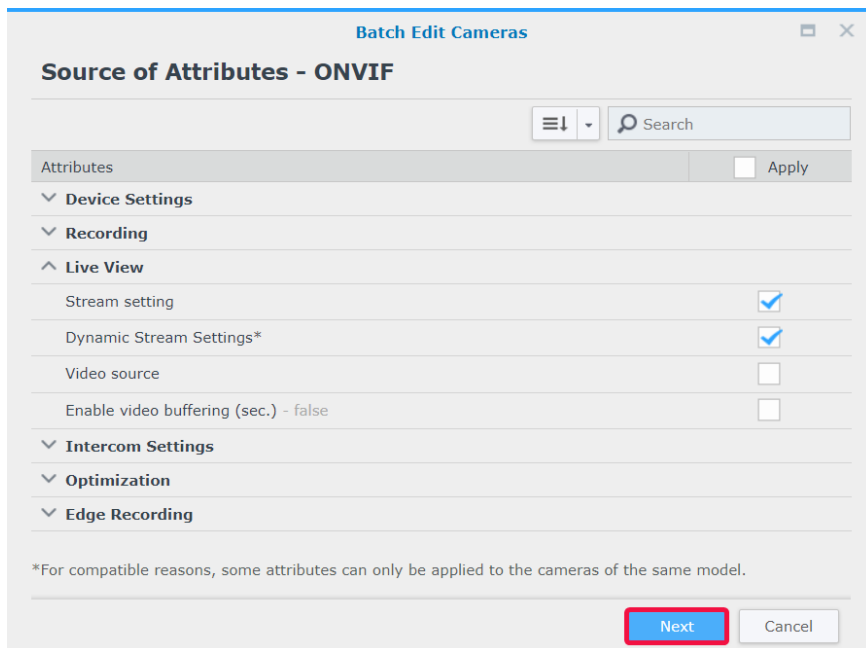
- **モデル番号**：カメラの名前は「**【モデル名】** **【カメラ番号】**」となります。
- **プレフィックス番号**：**【カスタムプレフィックス】**フィールドに、カメラ名のプレフィックスを指定します。カメラ名は「**【プレフィックス】** **【カメラ番号】**」となります。



9 **【完了】**をクリックして、セットアップを完了します。

カメラの一括編集

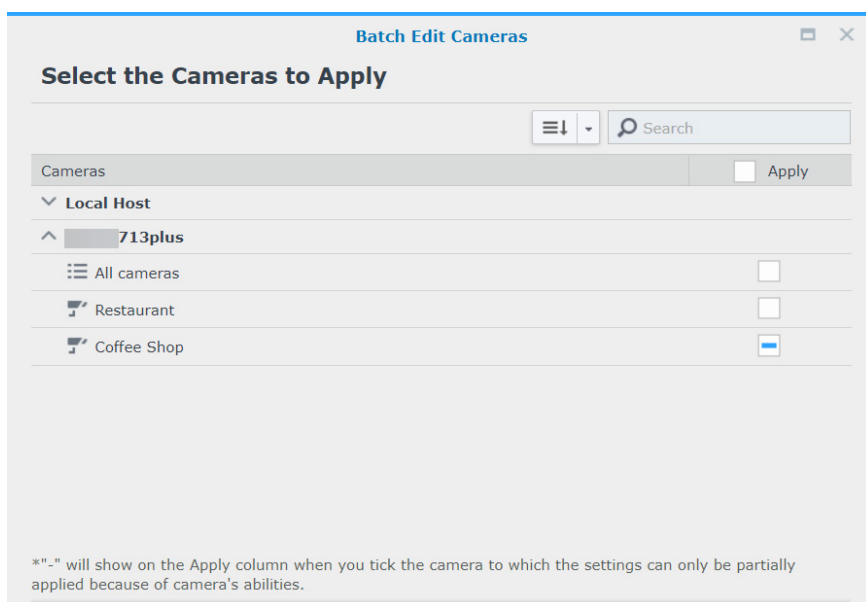
- 1 **【IPカメラ】**で、ターゲットバッチのカメラを選択します。
- 2 **【編集】** > **【一括編集】**をクリックします。
- 3 **【属性のソース】**ステップでは、カメラの属性が各種カテゴリにグループ化されています。他のカメラに適用したい属性の**【適用】**にチェックマークを付け、**【次へ】**をクリックします。



注意：

1. アスタリスク (*) の付いた属性は、一括編集のソースカメラと同じモデルのカメラにのみ適用できます。
2. その他のカメラに適用できるのは、ソースカメラが対応している属性のみです。

4 [適用するカメラを選択]ステップで、[適用]にチェックマークを付けて、選択した属性をカメラまたはカメラグループに適用し、[完了]をクリックして完了します。



注意：

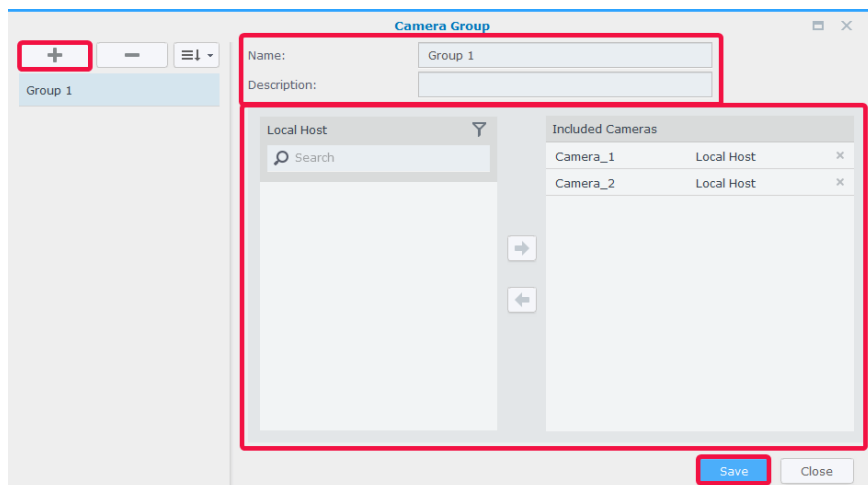
1. 互換性の問題から、一部の属性は特定のデバイスに適用できないことがあります。このようなカメラにチェックマークを付けると、[-]が表示されます。
2. 2台の ONVIF カメラの類似性は、製造元やモデル名ではなく、実際の属性によって判定されます。
3. [録画ストレージ]を適用できるのは、ターゲットカメラがソースカメラと同じ Synology 製品上にインストールされている場合のみです。

IP カメラのグループ化

[IP カメラ]>[グループ]では、カメラの場所、録画モード、用途など、任意の組み合わせでデバイスをグループ化できます。作成されたグループは、[ライブビュー]や[タイムライン]の[レイアウト]に自動的に表示されます。また、[権限プロファイル]でユーザーの権限をグループに適用することもできます。

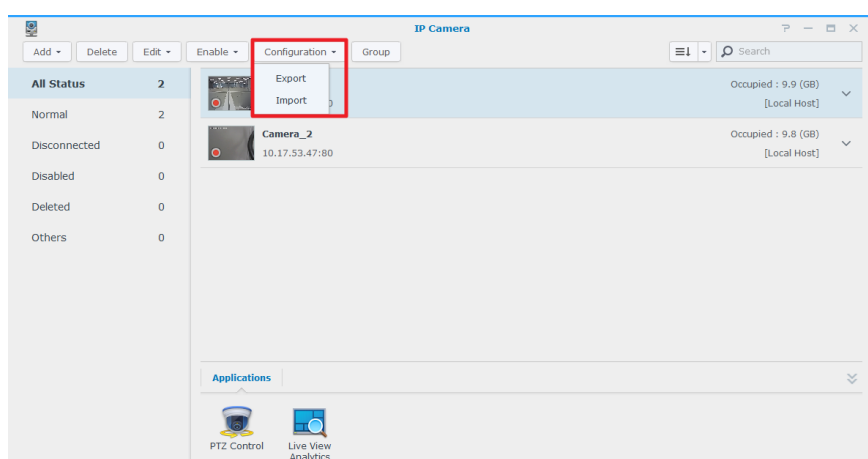
接続されている IP カメラをグループに追加するには、次の手順に従ってください。

- 1 [IP カメラ]を起動し、[グループ]をクリックします。
- 2 [+] ボタンをクリックし、[名前]フィールドと[説明]フィールド（オプション）に入力します。
- 3 [→] 矢印を使用して、カメラを[含めるカメラ]リストに追加します。
- 4 [保存]をクリックして完了します。



カメラ構成のインポート / エクスポート

現在のカメラ設定のコピーを保存する、または現在の構成を以前のもので置き換えるには、[IP カメラ]>[構成]>[インポート]/[エクスポート]に移動し、ウィザードの指示に従います。.conf ファイルが、[DSM]>[File Station]で指定されたフォルダに保存されます。詳細については、Surveillance Station の[ヘルプ]>[IP カメラ]を参照してください。

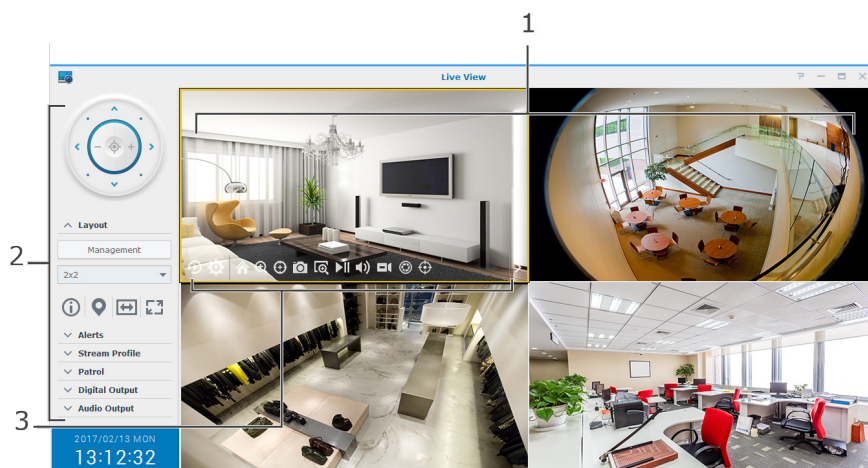


カメラ フィードの監視

カメラの展開が完了したら、**ライブ ビュー**でターゲットエリアの監視を開始できます。この章では、**ライブ ビュー**のレイアウト配置の基礎、カメラ イベントからのアラート受信、パトロール ルートをスケジュールするためのプリセット位置の設定について説明します。

ライブ ビュー

ライブ ビューでは、Surveillance Station とペアリングした全 IP カメラのビデオ フィードをリアルタイムで表示できるほか、スナップショットの撮影、ターゲットの追跡、PTZ（パン、チルト、ズーム）コントロールを使用したカメラ フィードの調整も行うことができます。個々の監視ニーズに応じてフィードのレイアウトを変えたり、カスタマイズしたりすることも可能です。



番号	名前	機能	
1	ライブビューレイアウト	IPカメラからのビデオフィードを表示します。カメラフィードをクリックして選択し、PTZコントロールを使用して表示オプションを変更できます。現在選択されているフィードは、黄色い枠でハイライトされています。カメラフィードをダブルクリックすると、そのフィードの画像が拡大されます。もう一度ダブルクリックすると、標準レイアウトに戻ります。	
2	左パネル	PTZコントロール	PTZ（パン、チルト、ズーム）コントロールに対応するカメラの角度やズームを調整します。選択したカメラがPTZコントロールに対応していない場合、これらのコントロールはグレー表示になり、使用できません。 1. 矢印ボタンで、現在選択されているカメラの角度を調整します。 2. ホームボタンを押すと、選択したカメラがデフォルトの位置に戻ります。 3. [+] ボタンと [-] ボタンで、選択したカメラの光学ズームを調整します。
		レイアウトパネル	ここで、ライブビューのレイアウトを編集したり、レイアウト関連の機能を有効/無効にしたりします。カメラフィードのレイアウトを素早く構成する方法については、次の「 ライブビューレイアウトの構成 」セクションを参照してください。
		アラートパネル	ここで、アラート設定を管理したり、警告されたビデオクリップを表示したりします。ライブビュー分析を素早く構成する方法については、次の「 ライブビュー分析で警告を受ける 」セクションを参照してください。
		ストリームプロファイル	ここで、ストリームプロファイルを切り替えます。
		パトロールパネル	ここで、パトロール設定を切り替えます。パトロールパスおよびスケジュールを素早く設定する方法については、次の「 PTZコントロールとアクション規則を使用したスケジュール済みパトロールの設定 」セクションを参照してください。
	デジタル出力 / オーディオ出力	デジタル出力またはオーディオ出力を有効化 / 無効化します。	
3	オンスクリーンボタン	選択したカメラフィードにポインタを合わせると、オンスクリーンボタンが表示されます。表示されるボタンは、カメラが対応している機能に応じて異なります。	

詳細については、Surveillance Station の [\[ヘルプ\]>\[ライブビュー\]](#) を参照してください。

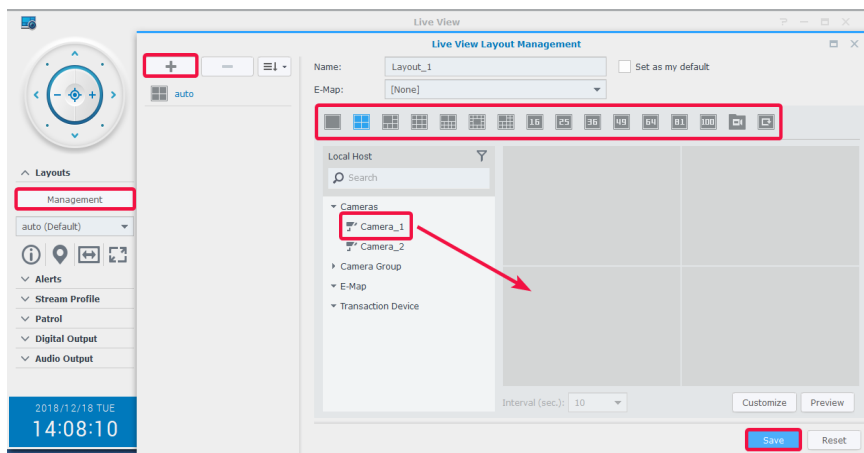
ライブ ビュー レイアウトの構成

ライブビューレイアウトを構成し、カメラフィードの監視を開始するには、次の手順に従ってください。

- 1 [ライブ ビュー]を起動し、[レイアウト]>[管理]に移動します。
- 2 お好みのレイアウトを選択します。
- 3 IPカメラをレイアウトの特定のチャンネルにドラッグアンドドロップします。ライブビューレイアウトに追加のビデオフィードを表示するには、この手順を繰り返します。

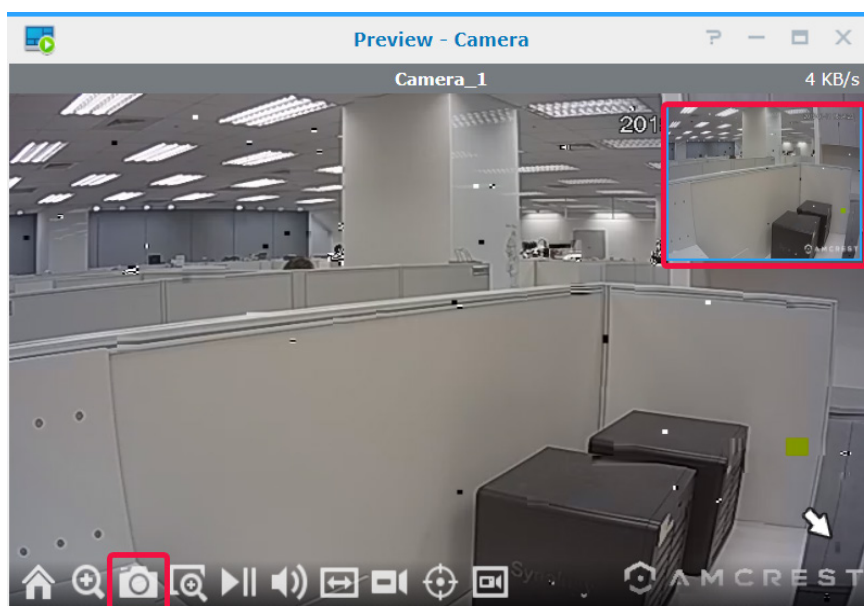
注意：レイアウトのカスタマイズの詳細については、Surveillance Station の[ヘルプ]>[ライブ ビュー]>[ライブ ビューを監視]を参照してください。

- 4 監視要件に応じて、[+] ボタンをクリックしてレイアウトを追加できます。**名前**を入力し、手順2～3を繰り返します。構成を完了した後は、[レイアウト パネル]で、保存したレイアウトを簡単に切り替えることができます。
- 5 [保存]をクリックして完了します。



重要なイベントのスナップショットの撮影

[ライブ ビュー]レイアウトが構成されたら、重要なイベントがあればいつでも画面上的のスナップショットボタンを使用してスナップショットを撮影して記録できます。📷 ボタンはすべての Surveillance Station プレーヤー ([録画] や [IP カメラ] など) で使用できます。

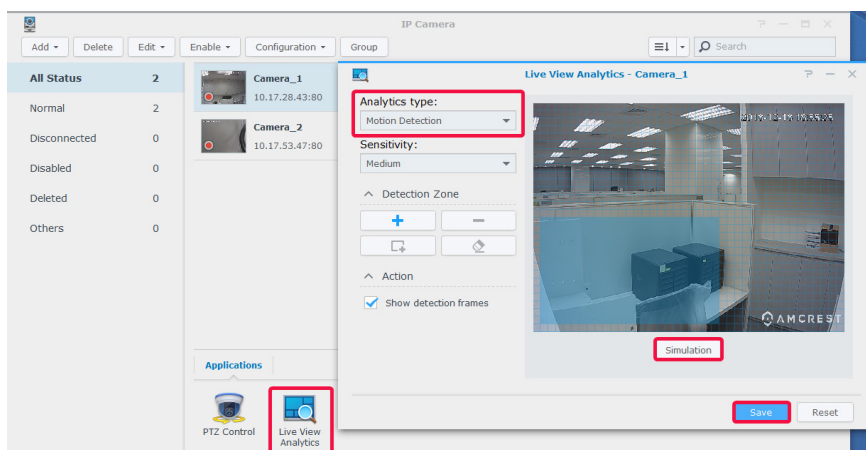


ライブ ビュー分析で警告を受ける

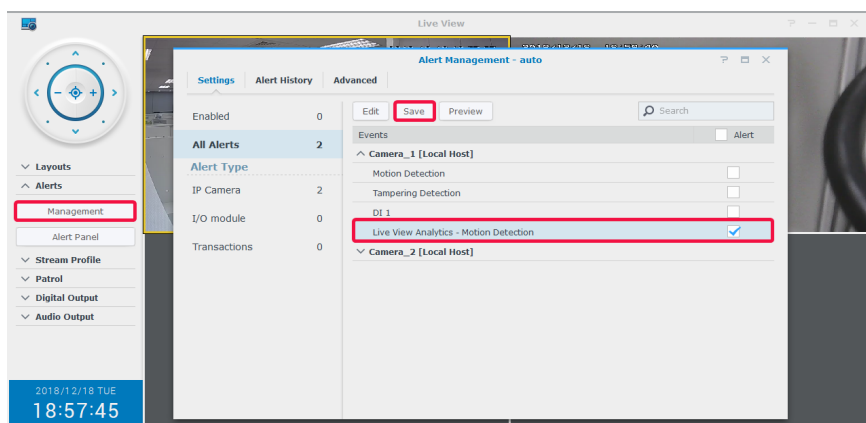
[ライブ ビュー分析]を使用すると、ライブ ビデオの表示や録画中にインテリジェントなターゲット追跡が可能です。これにより、いくつかの分析タイプから選択し、疑わしいイベントを追跡して、その場でスマート録画をトリガーできます。録画したセッションはすべて、分析できるように整理された状態でアーカイブされます。シミュレーションモードにより、正確な調整が実現されるため、個々のカメラについて最高の結果を生み出すことができるように感度、検出ゾーン、オブジェクトサイズを調整できます。

ライブビュー分析でイベントを追跡するには、次の手順に従ってください。

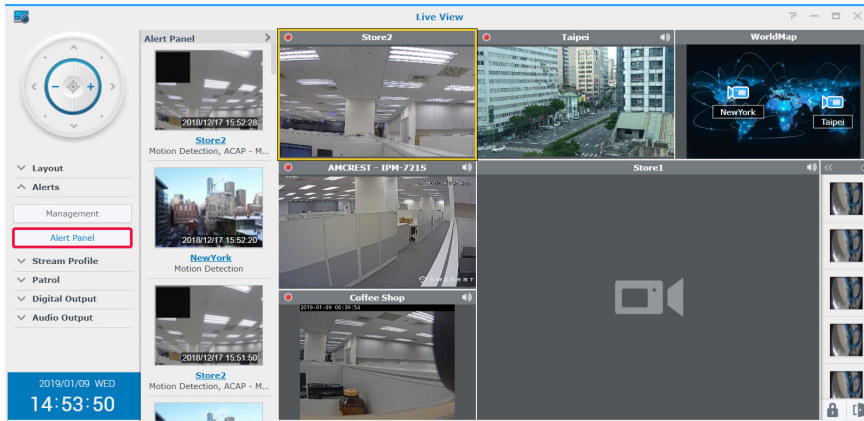
- 1 [IPカメラ]を起動し、カメラを選択し、[ライブ ビュー分析]をクリックします。
- 2 ドロップダウンメニューから[分析タイプ]を選択します。
- 3 [シミュレーション]をクリックして、個々のカメラで最高の結果が得られるように感度、検出ゾーン、オブジェクトサイズを微調整します。シミュレーションモードを停止するには、このボタンを再度クリックしてください。
- 4 [保存]をクリックして完了します。



- 5 [ライブ ビュー]を起動し、[アラート]>[管理]に移動します。
- 6 [IPカメラ]で先に構成した[ライブ ビュー分析]アイテムの[アラート]にチェックマークを付けます。
- 7 [保存]をクリックして、構成を完了します。



- 8 [アラートパネル]に移動して、警告を受けたビデオクリップを追跡します。イベントが、中央のセクションにリストされます。



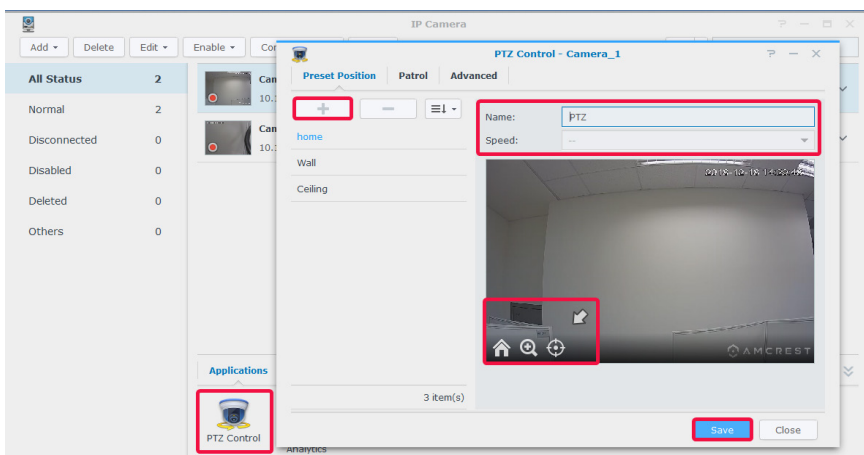
注意：詳細については、Surveillance Station の [\[ヘルプ\]](#) > [\[ライブビュー\]](#) > [\[アラート\]](#) の該当する説明を参照してください。

PTZ コントロールとアクション規則を使用したスケジュール済みパトロールの設定

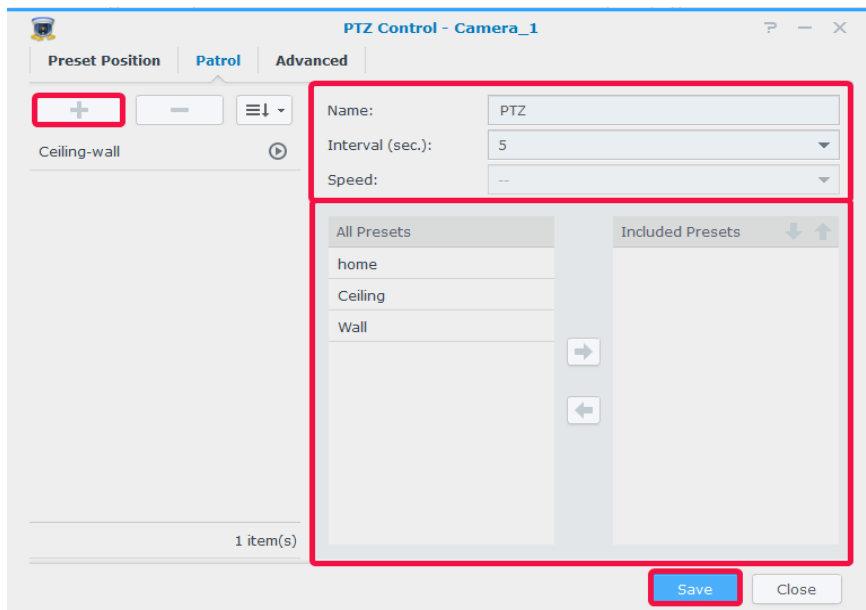
IP カメラが PTZ 機能に対応している場合は、複数のプリセット位置をカスタマイズして特別な注意を必要とする場所を監視できるようにしたり、既存のプリセット位置を直列に連結してパトロールパスを設定したりできます。

パトロールパスを設定するには、次の手順に従ってください。

- 1 **[IP カメラ]** に移動し、PTZ 対応のカメラを選択し、**[PTZ コントロール]** をクリックします。
- 2 **[+]** ボタンをクリックして、プリセット位置を追加します。
- 3 **名前**を入力し、移動の**[速度]**（カメラが対応している場合）を指定します。
- 4 画面の PTZ コントロールで表示角度を調整します。ステップ 2～4 を繰り返して、その他のプリセット位置を追加します。
- 5 **[保存]** をクリックして完了します。



- 6 **[パトロール]** タブに移動します。
- 7 **[+]** ボタンをクリックして、パトロールパスを追加します。
- 8 新しく追加したパトロールパスの**名前**を入力し、**[間隔 (秒)]** を選択して、秒単位で指定した時間が経過したらパトロールを繰り返すようにし、**[速度]** を指定して、パトロールの実行時の移動速度レベルを調整します（カメラが対応している場合）。
- 9 **[←]** 矢印を使用して、**[すべてのプリセット]** リストからプリセット位置を**[含まれるプリセット]** リストに追加します。**[↑]** または **[↓]** 矢印をクリックして、プリセット位置の順番を調整します。
- 10 **[保存]** をクリックして、パトロール設定を完了します。これで、**[パトロールパネル]** からパトロールパスを切り替えることができるようになりました。



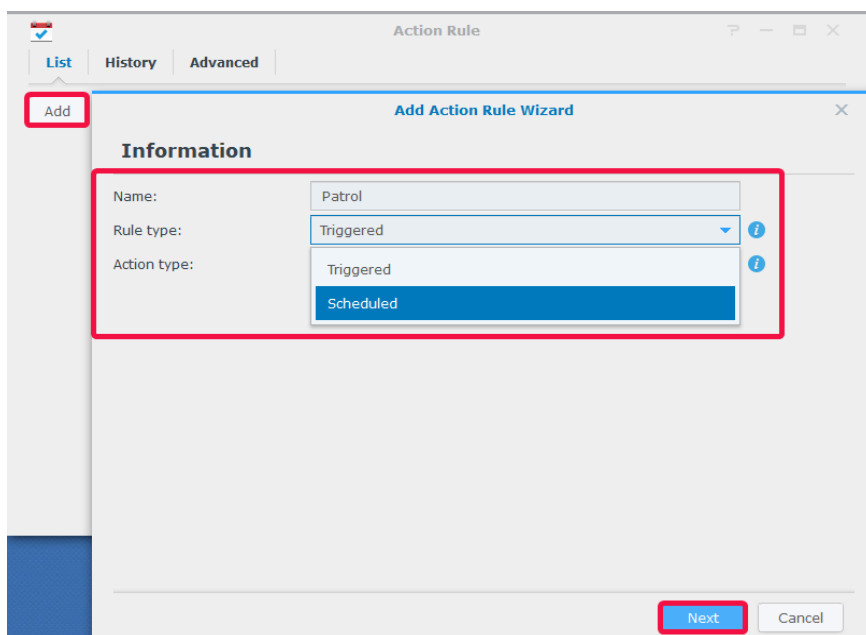
パトロールパスを自動的に繰り返すには、次の手順に従ってください。

11 Surveillance Station の [メインメニュー] > [アクション規則] を選択します。

12 [追加] をクリックして、アクション規則を作成します。

13 アクション規則の名前を入力し、[規則タイプ] を [スケジュール済み] に設定します。

14 [次へ] をクリックして続行します。



15 [アクションデバイス] を [カメラ] に、 [デバイス] をプリセット位置とパトロールパスが構成されている PTZ カメラに、 [アクション] を [パトロール] にそれぞれ設定します。構成した [パトロール] パスを指定し、好みの [サイクルでループ] と [間隔] を指定します。

16 [次へ] をクリックして続行します。

Add Action Rule Wizard

Action

Add Delete

^ Action 1

Action device: Camera

Device: Camera_1

Action: Patrol

Patrol: Ceiling-wall

Loops per cycle: 1

Interval: 10 Second(s)

Return position: None

Previous Next Cancel

17 グリッド上のセルを選択して、このアクション規則をアクティブにするタイミングを指定します。特定の日をクリックすると、その日1日が選択されます。時間をクリックすると、その時刻が選択されます。

18 [完了] をクリックして、構成を完了します。

Add Action Rule Wizard

Schedule

Active Delete

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
Sun																								
Mon									■	■	■	■	■	■	■	■	■	■						
Tue									■	■	■	■	■	■	■	■	■	■						
Wed									■	■	■	■	■	■	■	■	■	■						
Thu									■	■	■	■	■	■	■	■	■	■						
Fri									■	■	■	■	■	■	■	■	■	■						
Sat									■	■	■	■	■	■	■	■	■	■						

*Disabled cells are currently used by other rules for this device.

Previous Finish Cancel

ライブ ビデオの YouTube へのストリーミング

[ライブ ビュー]で監視するほかに、[ライブブロードキャスト]アプリケーションを使用してビデオストリームをYouTubeに共有することもできます。ストリームを他者と共有するには、[ライブブロードキャスト]を起動し、ストリームカメラを選択し、個人のYouTubeページのパス情報を入力します。

Live Broadcast

^ Status

Live ON

^ YouTube Settings

To transfer the stream to YouTube live, the rtmp path and corresponding key for your YouTube account must be provided. You can find relevant information on the personal page of [YouTube](#).

rtmp path:

Key:

^ Live Stream Source

YouTube Live only supports video streams in H.264 format.

Camera:

Stream profile:

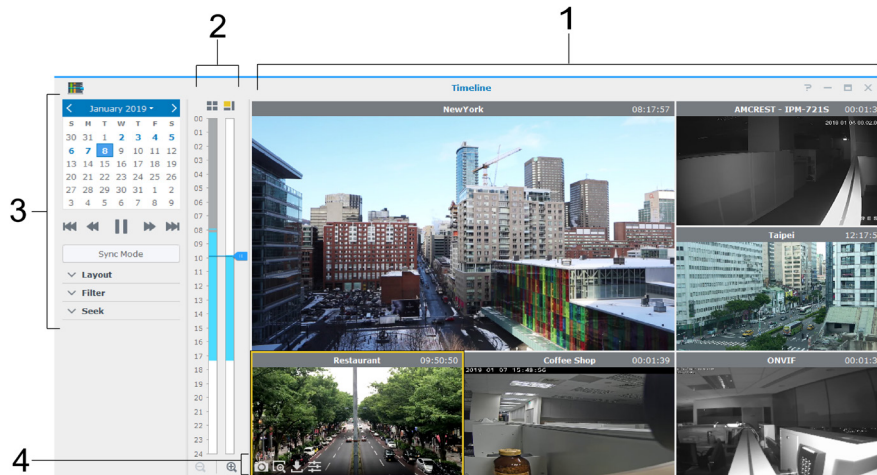
詳細については、Surveillance Station の [\[ヘルプ\]](#) > [\[ライブブロードキャスト\]](#) を参照してください。

ビデオ録画の再生

Surveillance Station では、ライブ フィードの表示のほかに、さまざまなビデオ再生機能にも対応しています。この章では、**[タイムライン]**の操作の基本について紹介します。

タイムライン

[タイムライン]では、IP カメラで撮影し、デバイスに保存した録画を再生できます。ビデオはカメラ モード、録画、日付によってフィルタをかけることができます。



番号	名前	機能	
1	録画ビューア	IP カメラからのビデオ フィードを表示します。カメラ フィードをクリックして選択し、 [コントロールパネル] を使用して表示オプションを変更します。現在選択されているカメラ フィードが黄色い枠でハイライトされます。カメラ フィードをダブルクリックすると、そのフィードの画像が拡大されます。もう一度ダブルクリックすると、標準レイアウトに戻ります。	
2	タイムライン	撮影時刻に基づいて録画を検索します。2列あり、左側はすべてのカメラ フィード、右側は現在選択されているカメラ フィードをそれぞれ表します。	
3	左パネル	コントロールパネル	録画の再生用のコントロール： 1. カレンダー上の特定の日付に撮影された録画を再生します。録画がある日付は青で表示されます。 2. カレンダーの下にある再生/一時停止、早送り/スロー モーション、次へ/戻る、次のフレーム/前のフレームなどのボタンで、再生をコントロールします。
		レイアウトパネル	タイムラインのレイアウトを編集したり、レイアウト関連の機能を有効/無効にしたりします。レイアウトの構成に関する基本的な情報については、前の「 ライブビューレイアウトの構成 」セクションを参照してください。
		フィルタパネル	次のオプションを使用して、表示する録画にフィルタをかけます。 1. 特定の録画モードを持つ時間のセクションをフィルタで取り除くには、タイムラインで特定の録画モードを選択します。 2. 動作検出、音声検出、およびその他のイベントなど、イベントを持つ時間のセクションをフィルタで取り除くには、 [イベントのみを表示] オプションを選択します。
	シークパネル	[時] 、 [分] 、 [秒] を指定し、 [移動先] をクリックすると、カメラ フィードの特定の時刻を検索します。 [Smart Search] を起動して、より正確な検索結果を得ることもできます。	
4	オンスクリーン ボタン	選択したカメラ フィードにポインタを合わせると、オンスクリーン ボタンが表示されます。表示されるボタンは、カメラが対応している機能に応じて異なります。	

詳細については、Surveillance Station の **[ヘルプ]** > **[タイムライン再生]** > **[タイムラインで作業をする]** を参照してください。

マルチチャンネルの録画の表示

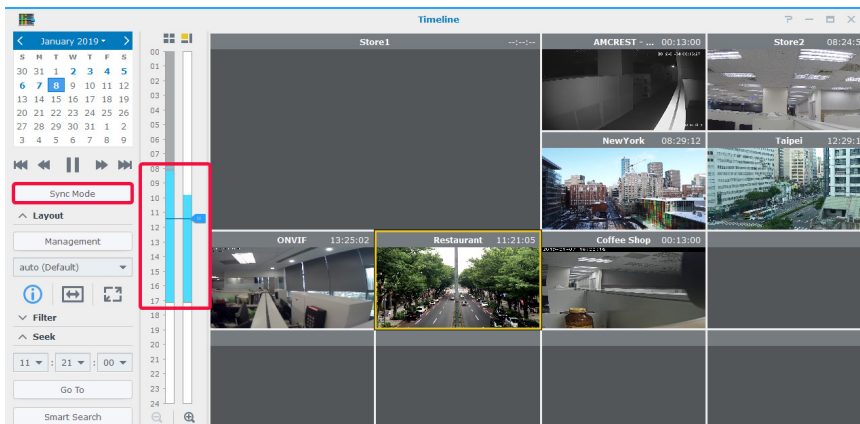
[タイムライン]では、特定の時刻を選択でき、ターゲットイベントを探すためにクリップをすべて見る手間を省くことができます。異なるカメラによって異なる時刻に録画されたクリップを同時に表示して、イベントのアクションフローを再現したり、周囲で起こった特定のインシデントの正確な時刻を特定したりできます。

- 1 レイアウトを設定します。[ライブビュー]で以前作成したレイアウトを選択することも、[タイムライン]で新しいレイアウトを作成することもできます。
- 2 [タイムライン]を起動し、[コントロールパネル]から日付を指定します。タイムラインバーに表示する一連の録画クリップが組み合わせられます。

注意：

1. 時刻のセグメントは、イベントが発生した場合は青、イベントが発生しなかった場合はグレーでそれぞれマークされます。
2. 非連続録画モード下では、1日のうちにまったくイベントが発生しなかった場合は録画がまったく生成されないということが起こりえます。この場合、タイムラインバーはマークされません。そして、システムは直近の日付から録画を自動的に再生します。

- 3 ビデオフィードを異なる時点から表示するには、非同期モードに切り替えます（[同期モード]ボタンがグレーに変わります）。個々のカメラにはそれぞれ、専用のタイムラインがあります。
- 4 カメラを選択し、右のタイムラインカーソルをドラッグして、再生時刻を調整します。すべてのカメラが理想的なタイミングになるまで繰り返します。

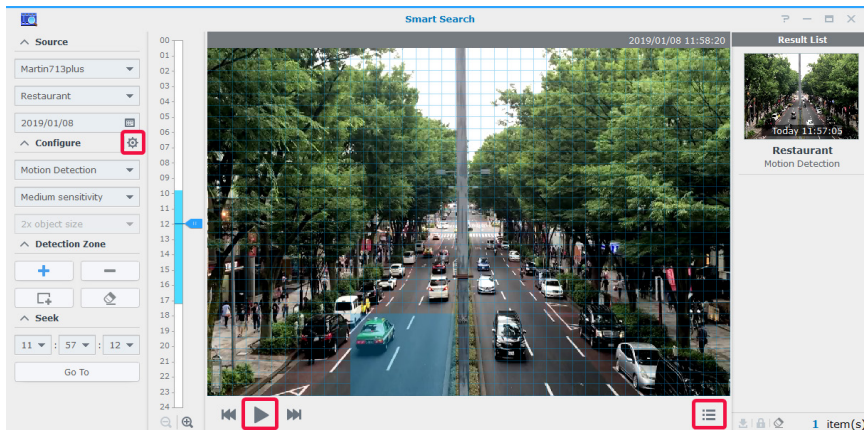


- 5 録画は Smart Search やタイムラインフィルタで探すこともできます。

Smart Search

イベントの発生時刻が正確にはわからない場合は、[Smart Search]を使用してイベントを探してみてください。[Smart Search]を利用して、動き、不明なオブジェクトや異物、カメラ閉鎖、焦点ボケ、アイドル状態のない区域など、特定のアクションのクリップを検索することもできます。

- 1 [タイムライン]または Surveillance Station の[メインメニュー]から、[Smart Search]を起動します。
- 2 [ソース]で、サーバー、カメラ、日付を選択することで、検索する録画を選択します。
- 3 タイムラインカーソルを移動するか、[シーク]機能を使用して、カーソルを特定の時刻に素早く移動できます。
- 4 [構成]で、検索タイプ、感度レベル、オブジェクトタイプを指定します。
- 5 [動作検出]、[不明なオブジェクト]、または[異物]を選択した場合は、[検出ゾーン]を指定します。



6 必要に応じて、 をクリックして、高度な検索設定ウィンドウを開きます。

7  をクリックすると、検索が開始されます。

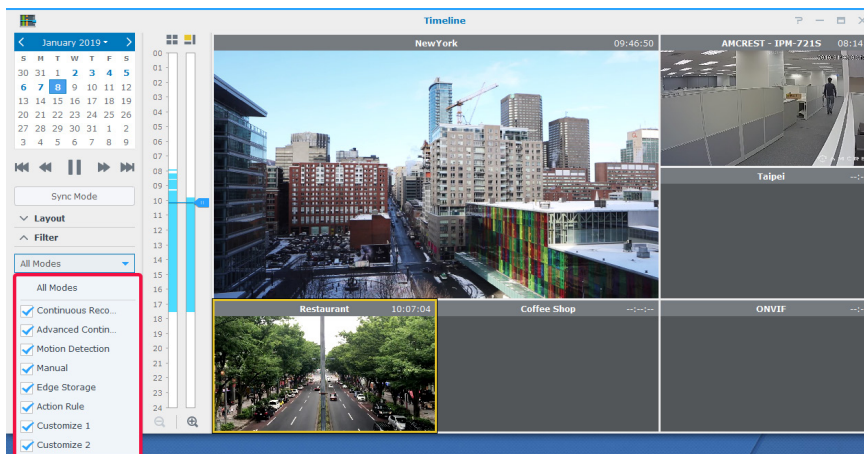
8  をクリックすると、結果リストが展開されます。

詳細な手順については、Surveillance Station の [\[ヘルプ\]](#) > [\[Smart Search\]](#) を参照してください。

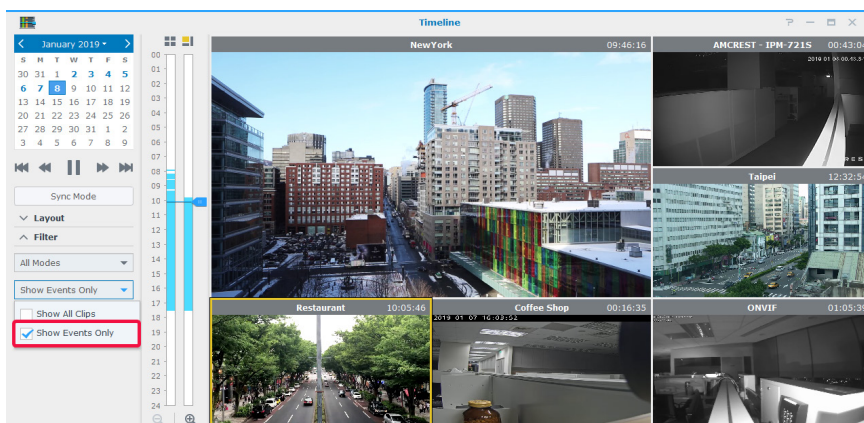
タイムラインフィルタ

カメラに対して複数の録画モードを設定している場合は、**フィルタ**を設定して録画を探してみてください。

1 **[フィルタ]**パネルで、表示する録画モードを最初のドロップダウンメニューから選択し、ビデオフィードの任意の位置をクリックします。



2 イベントを含んでいる録画セグメントにのみ関心がある場合は、2番目のドロップダウンメニューから **[イベントのみを表示]** を選択できます。



ビデオ録画の管理

録画には、IPカメラで録画したフッターがリストされます。録画ファイルは再生したり、ダウンロードしたりできます。また、ロックして、重要なイベントを誤って削除してしまわないようにすることもできます。アーカイブを作成して、ビデオファイルを管理することもできます。

ビデオ録画の管理

録画されたビデオファイルの表示

保存済みの録画ファイルを[録画]で再生するには、[リスト]タブに移動し、表示するビデオを右クリックし、[再生]をクリックします。

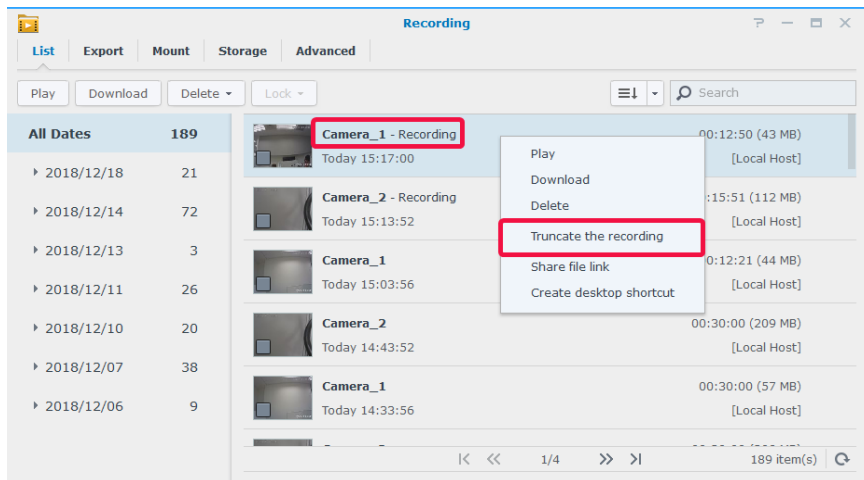
録画には、次のような状態タグが付いています。

- Continuous Recording
- Advanced Continuous Recording
- Manual Recording
- Motion Detection Recording
- Customize 1 Recording
- Customize 2 Recording
- Edge Recording
- Action Rule Recording

右上隅の[検索]ボックスから、表示する録画を定義することもできます。特定のファイルを素早く対象にするには、ソースサーバー、カメラ、録画モード、ロック状態、開始/終了時刻によってフィルタ条件を設定します。

録画中にビデオファイルを切り捨てる

録画中のビデオクリップを途中で切り捨てるには、「-録画中」とマークされているクリップを右クリックし、[録画の切り捨て]を選択して、録画を直ちに中止し、録画済み部分をアーカイブします。



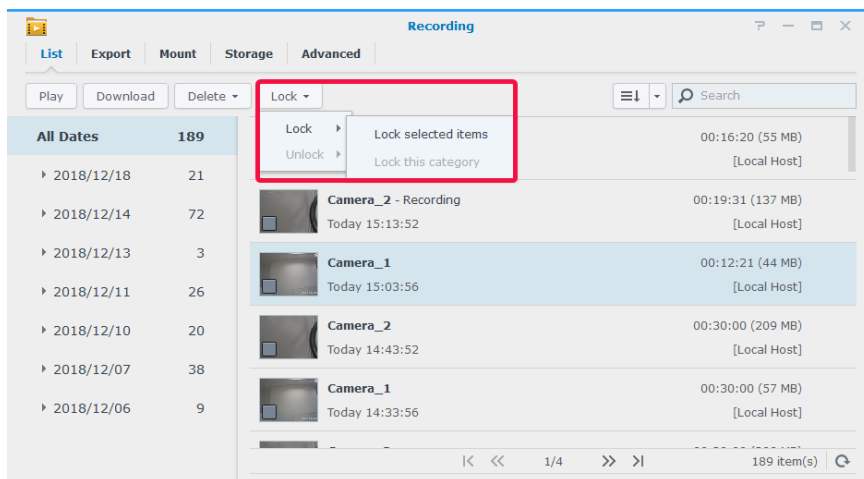
注意: 連続録画の場合、Surveillance Station は別のクリップを開始します。詳細については、Surveillance Station の [ヘルプ](#) > [録画](#) > [リスト](#) を参照してください。

録画のロック

システムが古いファイルを消去するときに、誤って大切な録画も消去してしまわないように、ロックをかけることができます。

録画をロックするには：

- 1 ロックするカメラを右クリックして選択します。このカメラは「-録画中」とマークできません。
- 2 **[ロック]** > **[ロック]** をクリックして、選択したカメラまたはカテゴリをロックします。
- 3 ロックされたクリップは、「-**ロック済み**」とマークされます。



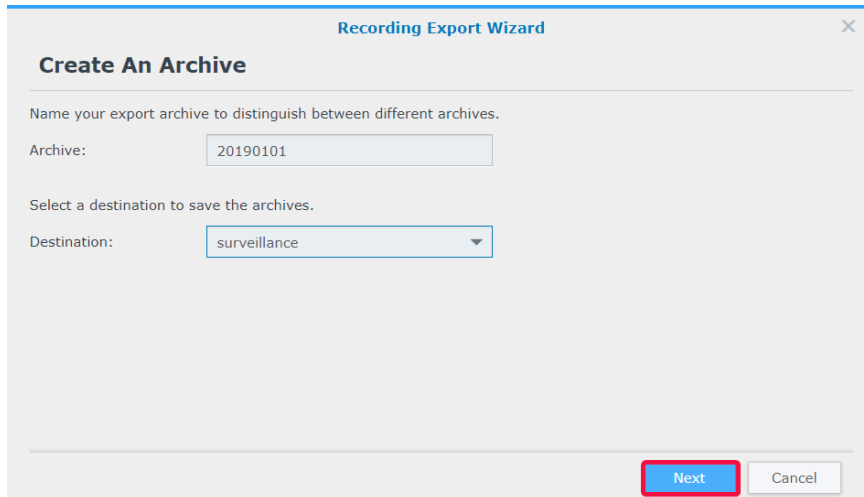
- 4 録画をロック解除するには、「-**ロック済み**」とマークされているカメラを選択し、**[ロック]** > **[ロック解除]** をクリックします。

ビデオ アーカイブの管理

ビデオをアーカイブとしてエクスポート

[エクスポート] タブでは、Surveillance Station からの録画を USB または eSATA インターフェイス経由で任意の共有フォルダまたは外部ストレージデバイスにエクスポートできます。カメラと時刻の範囲を指定すると、その範囲内の録画がアーカイブとしてエクスポートされます。

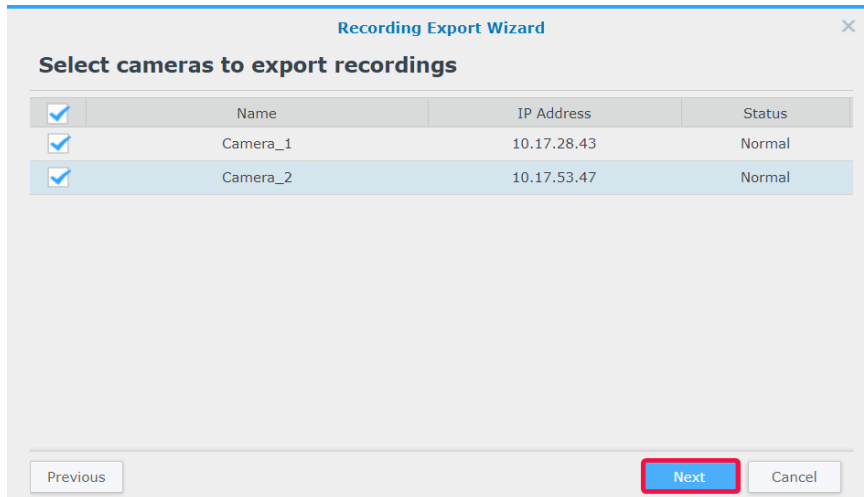
- 1 [追加] をクリックします。
- 2 アーカイブに名前を付け、保存先を選択し、[次へ] をクリックします。



The dialog box titled "Recording Export Wizard" has a sub-header "Create An Archive". It contains the following fields and controls:

- Text: "Name your export archive to distinguish between different archives."
- Text input: "Archive:" with the value "20190101".
- Text: "Select a destination to save the archives."
- Dropdown menu: "Destination:" with the value "surveillance".
- Buttons: "Next" (highlighted with a red box) and "Cancel".

- 3 録画をエクスポートするカメラを選択し、[次へ] をクリックします。

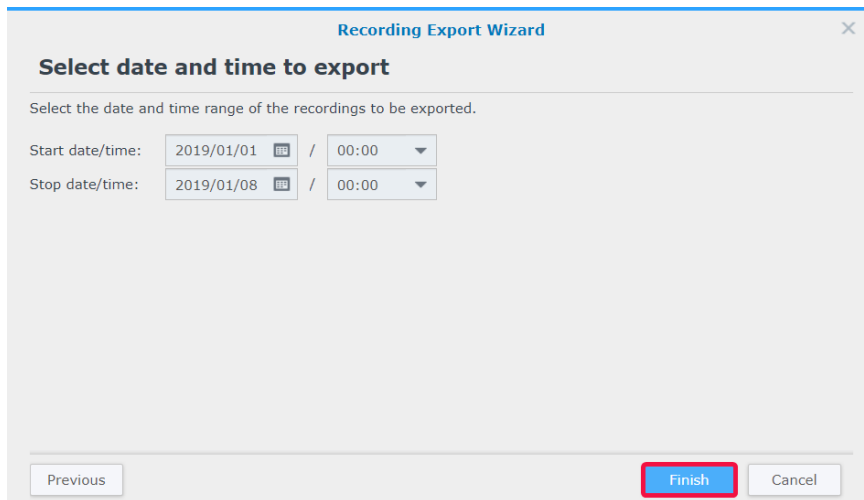


The dialog box titled "Recording Export Wizard" has a sub-header "Select cameras to export recordings". It contains the following table and controls:

<input checked="" type="checkbox"/>	Name	IP Address	Status
<input checked="" type="checkbox"/>	Camera_1	10.17.28.43	Normal
<input checked="" type="checkbox"/>	Camera_2	10.17.53.47	Normal

Buttons: "Previous", "Next" (highlighted with a red box), and "Cancel".

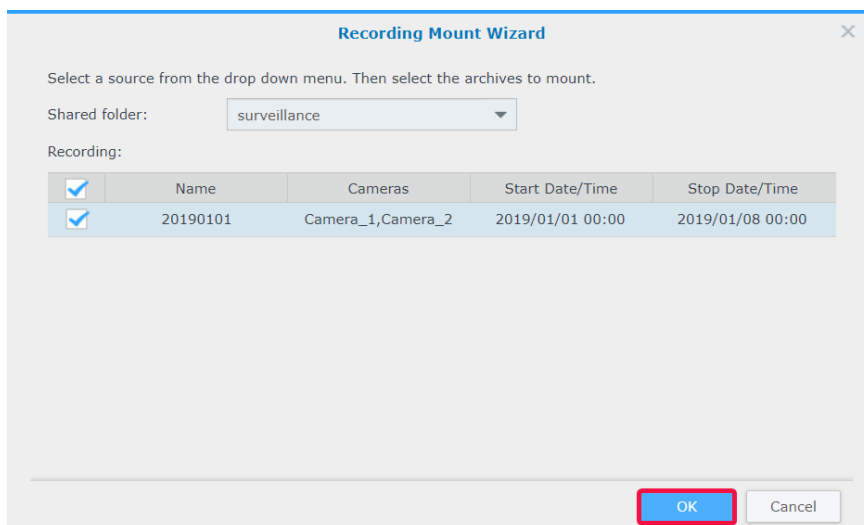
- 4 日付と時刻の範囲を選択し、[終了] をクリックしてエクスポートします。



アーカイブを Surveillance Station にマウント

[マウント]タブでは、エクスポートしたアーカイブを Surveillance Station にマウントできます。マウントしたアーカイブの録画は、[録画]と[タイムライン]で再生できます。

アーカイブをマウントするには、[追加]をクリックし、[共有フォルダ]とターゲットアーカイブを選択し、[OK]をクリックしてマウントします。



録画ストレージの追加

Surveillance Station では、録画ストレージとして、既存の共有フォルダを使用することも、暗号化されたフォルダを新しく追加することもできます。このセクションでは、例として、暗号化されたフォルダを作成することを選択します。

- 1 [追加]>[ストレージの追加]をクリックします。
- 2 [共有フォルダの追加]を選択し、[次へ]をクリックします。
- 3 名前と説明を入力し、ドロップダウンメニューから場所を選択します。

Add Storage ×

Information

Name:

Description:

Location:

Limit the recording storage up to (GB)

Hide this shared folder in "My Network Places"

- 4 記録スペースの最大ストレージサイズを構成する場合は、チェックボックスにチェックマークを付け、上限サイズを指定します。
- 5 録画ストレージとして使用している共有フォルダをWindowsのエクスプローラで[ネットワーク]に表示されないようにする場合は、**「マイネットワーク」でこの共有フォルダを非表示にする**にチェックマークを付けます。
- 6 **「次へ」**をクリックして**「詳細設定」**ページに移動します。
- 7 **「この共有フォルダを暗号化する」**にチェックマークを付け、暗号化キーを設定します。
- 8 **「終了」**をクリックして完了します。

Add Storage ×

Advanced

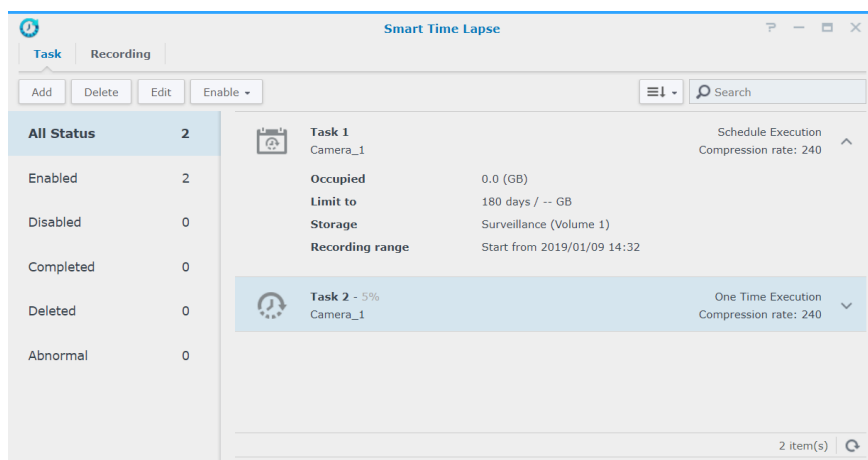
Encrypt this shared folder ⓘ

Encryption key:

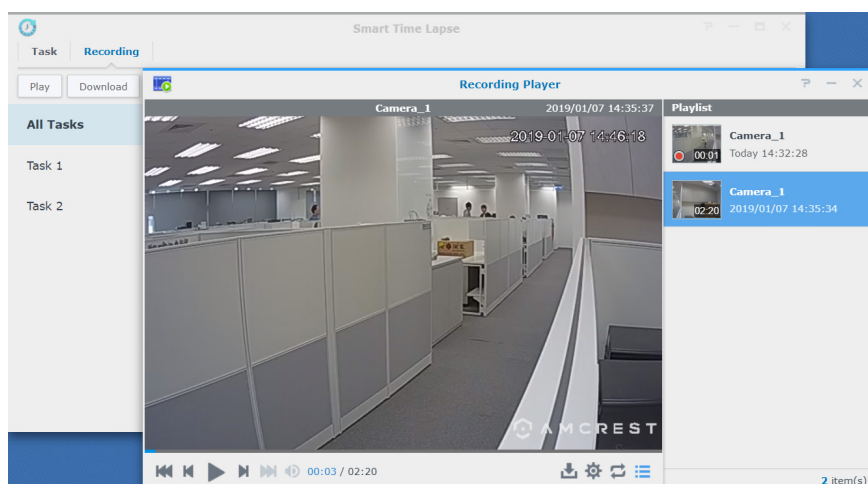
Confirm key:

スマートタイムラプス

[スマートタイムラプス]は、長時間にわたって撮られたビデオを、数分間または数秒間の長さのビデオに凝縮します。大規模プロジェクトの全変化の概要を素早く確認したい場合は、Surveillance Stationの[メインメニュー]から[スマートタイムラプス]アプリケーションを起動し、タスクを**追加**してみてください。



完成したタイムラプスビデオは、[録画]タブにリストされます。



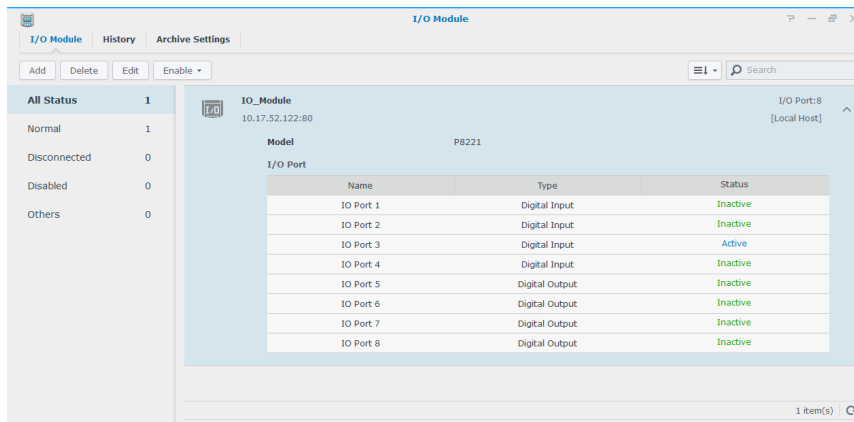
詳細については、Surveillance Stationの[ヘルプ]>[スマートタイムラプス]の該当する説明を参照してください。

I/O モジュールに関する作業

I/O モジュールに対応していることから、Surveillance Station は、特殊な機能を持つさまざまなデバイスと統合できます。煙探知器、LED 照明、電磁ロックなどの製品と簡単に接続して、Surveillance Station を一元化されたセキュリティシステムとして動作させることができます。この章では、I/O モジュールの追加および管理手順について説明します。

I/O モジュールのインストール

- 1 I/O モジュールを正しく接続します。
- 2 [メインメニュー]>[I/O モジュール]に移動します。
- 3 [追加]をクリックし、[I/O モジュール ウィザードを追加する]の手順に従います（詳細な手順については、第2章の「IP カメラのインストール」を参照してください）。
- 4 [次へ]をクリックして、I/O ポートの設定を編集します。元のモジュール設定、I/O タイプ、回路タイプを通常の状態に保持するかどうかを指定できます。[出力をアクティブート]をクリックして、デバイスがトリガーされたときに[トリガー状態]が切り替わるかどうかをテストします。
- 5 [次へ]をクリックして、[カメラのペアリング]を編集します。ペアリングしたカメラは以下の機能に使用できます。
 - a [I/O モジュール ログ]タブでカメラ録画を再生するため。
 - b デジタル入力が発検されたら、スナップショットが添付された通知を電子メールで送信する。
 - c ペアリングしたカメラからのビデオ フィードを[E マップ]でプレビューする。
- 6 [次へ]をクリックして、[詳細設定]で時間同期を編集します。Surveillance Station が I/O モジュールのタイムサーバーとして実行されている場合、I/O モジュールは Surveillance Station と同じローカルエリアネットワークに存在する必要があります。
- 7 [完了]をクリックして、セットアップを完了します。情報が表示画面に表示されます。



- 8 後で設定を変更する場合は、ターゲットの I/O モジュールを選択し、[編集]をクリックします。各プロパティの設定は該当するタブから変更できます。

詳細な手順については、Surveillance Station の [ヘルプ]>[I/O モジュール]>[I/O モジュールの設定を構成]を参照してください。

[アクション規則]を持つ I/O モジュールに接続されているデバイスをリンクすると、異なるデバイスが互いにやり取りできるようになります。設定の詳細については、**第 8 章：アクション規則**を参照してください。

I/O モジュールの削除

I/O モジュールを Surveillance Station から削除するには、希望する I/O モジュールを選択し、**[削除]** をクリックします。

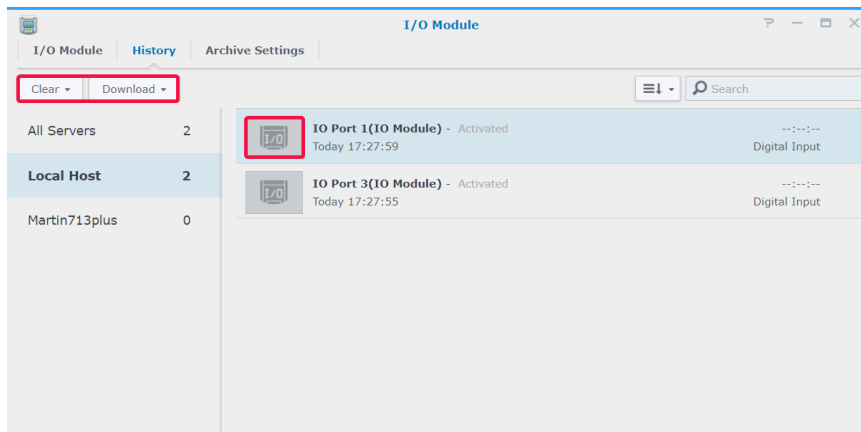
I/O モジュールの無効化

特定の I/O モジュールとの接続を一時的に終了する場合は、希望する I/O モジュールを選択し、**[有効]** > **[無効]** をクリックします。サービスを再開するには、**[有効]** > **[有効]** をクリックします。

I/O モジュール履歴の表示

[履歴] タブでは、I/O モジュール ログを表示して、過去の記録に関する理解を深めることができます。

- 録画を再生するには、記録をブラウズし、サムネイルをクリックして再生します。カメラの録画は、イベントの発生の 10 秒前からイベントの終了の 20 秒後まで再生されます。
- 特定のログを削除するには、ターゲットの I/O モジュールを選択し、**[クリア]** をクリックします。
- 特定のログを記録用に保存するには、ターゲットの I/O モジュールを選択し、**[ダウンロード]** をクリックします。



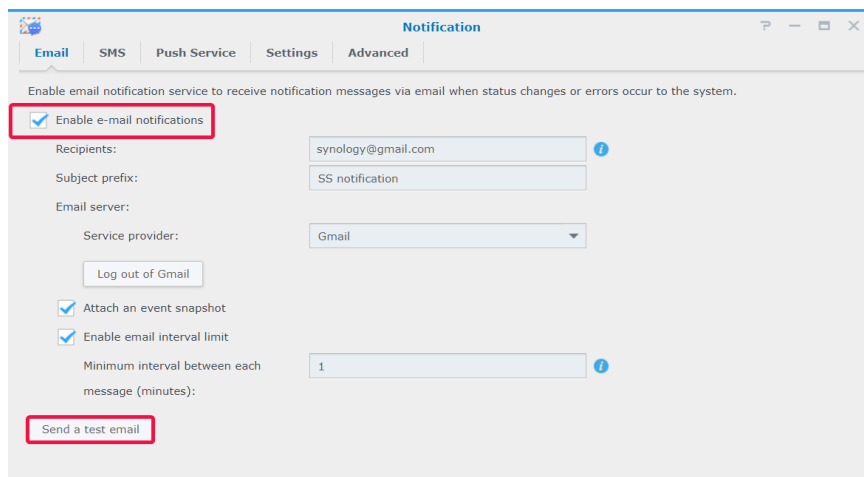
通知

[通知]では、通知を設定して、システムの状態が変化したりエラーが発生したりした場合に電子メール、SMS、モバイルデバイスでメッセージを受信できます。この章では、通知の設定の基本について紹介し、主な機能をリストします。

さまざまなチャンネルを使用した通知の受信

電子メールでの通知の受信

- 1 [通知]>[電子メール]に移動します。
- 2 [電子メール通知を有効にする]にチェックマークを付け、必要な情報を入力します。
 - ・ サービスプロバイダーとして Gmail を選択する場合は、[Gmail にログイン]を忘れずにクリックしてください。
 - ・ カスタム SMTP サーバーを使用する場合は、[サービスプロバイダー]から[カスタム SMTP サーバー]を選択し、必要な情報を入力します。SMTP サーバーは IP アドレスまたはドメイン名で指定できます。ドメイン名を使用する場合は、有効な DNS サーバー IP が [DSM]>[コントロールパネル]>[ネットワーク]に入力されていること、およびサーバーがインターネットに接続されていることを確認してください。
- 3 通知とともにスナップショットを受信する場合は、[イベントスナップショットを添付]にチェックマークを付けます。
- 4 メッセージをあまり多く受信しないようにする場合は、[Eメールの間隔制限を有効にする]にチェックマークを付けます。[最小メッセージ間隔(分)]フィールドには、メッセージを受信する頻度を指定できます。
- 5 [テストSMSメッセージの送信]をクリックして、設定が正しいかどうかを確認します。
- 6 [保存]をクリックして完了します。



SMSでの通知の受信

- 1 [通知]>[SMS]に移動します。
- 2 **[SMS通知を有効にする]** チェックボックスにチェックマークを付けます。
- 3 ドロップダウンメニューから既存のSMSプロバイダーを選択するか、**[SMSサービスプロバイダーを追加]** をクリックして新しいSMSプロバイダーを追加し、SMSアカウント情報を入力します。
- 4 **代表電話番号**と、必要に応じて**サブ電話番号**を指定します。
- 5 メッセージをあまり多く受信しないようにする場合は、**[SMS間隔制限を有効にする]** にチェックマークを付けます。
- 6 **[保存]** をクリックして完了します。

Notification

Enable SMS notification service to receive notification messages via SMS when status changes or errors occur to the system.

Enable SMS notifications

SMS service provider: clickatell Edit Delete

Username: Synology

Password:

Confirm password:

API ID: Synology

Add SMS service provider

Primary phone number: + 123 - 45678910

Secondary phone number: + 987 - 6543210

Enable SMS interval limit

Minimum interval between each message (minutes): 5

Save Close

プッシュサービスでの通知の受信

注意：プッシュサービスを有効にする前に、Synology NAS/NVR がポート 8089 を使用してインターネットにアクセスできることを確認してください。

Synology がホストする電子メールサーバーを使用するには：

- 1 [通知]>[プッシュサービス]に移動します。
- 2 **[Synology の Eメールサーバーを介して、システムの状態に関する通知を送信します]** にチェックマークを付け、1つ以上の電子メールアドレスを入力します。
- 3 メッセージをあまり多く受信しないようにする場合は、**[Eメールの間隔制限を有効にする]** チェックボックスにチェックマークを付けます。
- 4 **[保存]** をクリックして続行します。プッシュ通知を受信するには、電子メールアドレスを認証する必要があります。指定したアドレスに認証電子メールが送られます。認証電子メールに記載される手順に従ってください。
- 5 認証後、**[テストメッセージの送信]** をクリックして、設定が正しいかどうかを確認します。

Notification

Enable notification service to receive notification messages via Synology's email server and mobile devices when a notification event occurs.

Send notifications regarding system status via Synology's email server

Recipients: synology@synology.com

Attach an event snapshot

Enable email interval limit

Minimum interval between each message (minutes): 2

Enable mobile device notifications

Manage paired DS cam

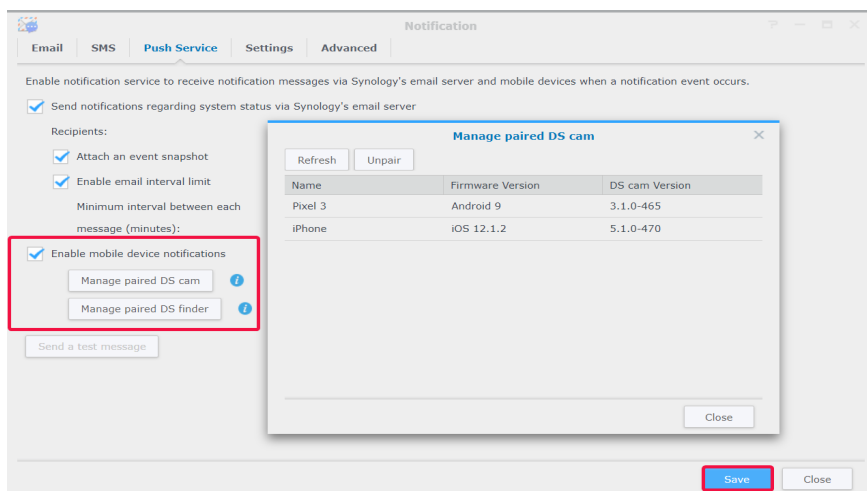
Manage paired DS finder

Send a test message

Save Close

モバイルデバイス通知を有効にするには：

- 6 [モバイルデバイス通知を有効にする] にチェックマークを付け、[保存] をクリックします。
- 7 モバイルデバイスで、**DS cam** または **DS finder** をインストールし、Surveillance Station にログインします。
- 8 Surveillance Station に戻り、[ペアリングした DS cam を管理] または [ペアリングした DS finder を管理] クリックして、ペアリングされているすべてのモバイルデバイスのリストを確認します。
- 9 [テストメッセージの送信] をクリックして接続をテストします。
- 10 [保存] をクリックして完了します。

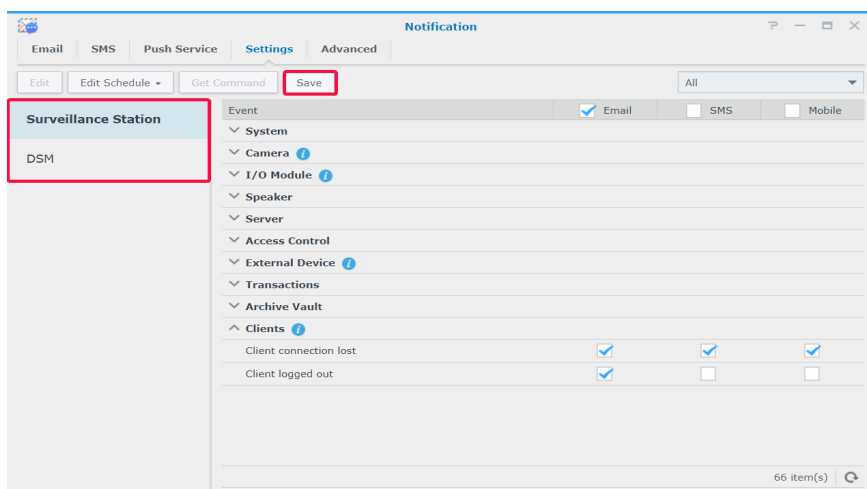


注意： DSM から通知を受け取るには、モバイル機器に DS finder をインストールし、この Synology 製品を [私のお気に入り] リストに追加します。

通知設定の構成

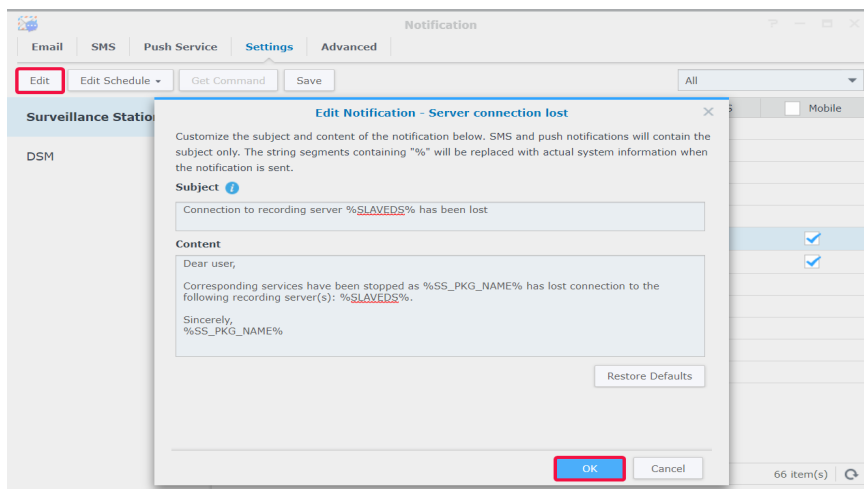
通知サービスタイプの設定

- 1 [通知]>[設定] に移動します。
- 2 [Surveillance Station] または [DSM] を選択し、通知を受信するイベントの対応する [電子メール]、[SMS]、または [モバイル] チェックボックスにチェックマークを付けます。
- 3 [保存] をクリックして、設定を適用します。

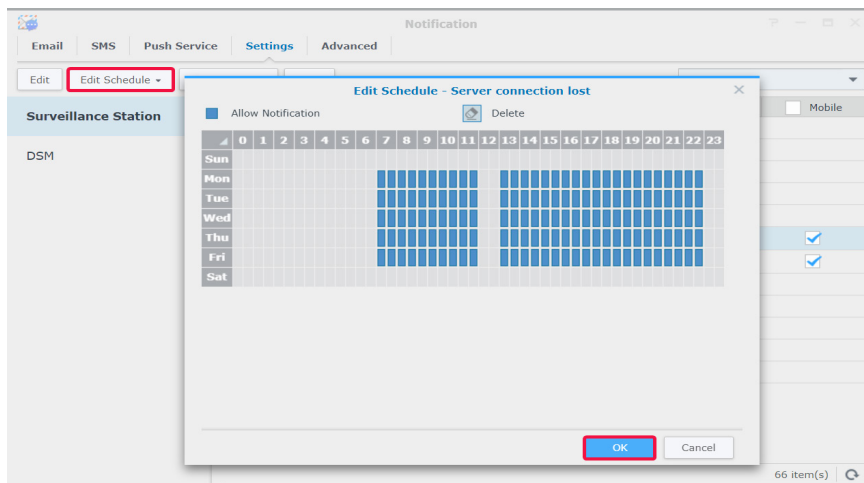


通知イベントの編集

- 通知の内容をカスタマイズするには、**[設定]** タブからイベントを選択し、**[編集]** をクリックします。

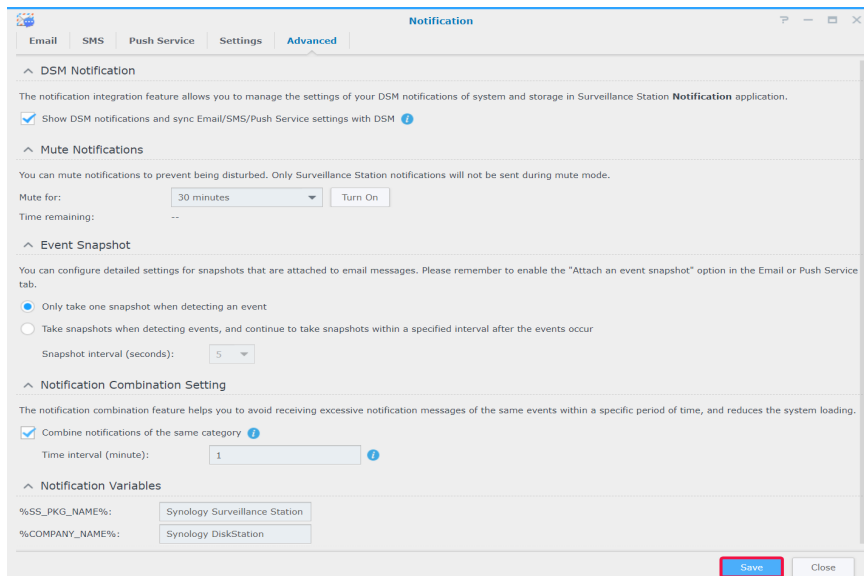


- メッセージの送信が許可される時間を指定するには、**[設定]** タブでイベントを選択し、**[スケジュールを編集]** をクリックします。



詳細設定の管理

[詳細設定] タブでは、DSM と Surveillance Station の通知の統合、電子メール メッセージに添付されるスナップショットの構成、通知の消音、同一イベントタイプの通知の結合、通知変数の編集を行うことができます。



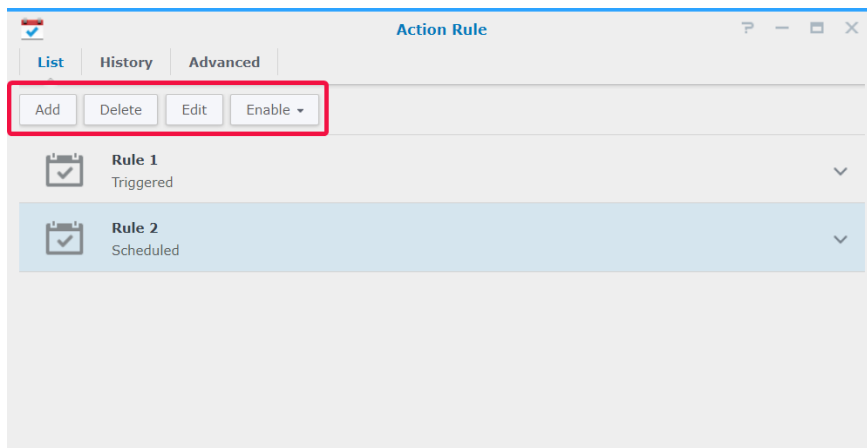
手順の詳細については、Surveillance Station の [ヘルプ] > [ライブビュー] > [通知] の該当する説明を参照してください。

アクション規則

[アクション規則]には、各種監視機能を自動化するさまざまなルールが用意されており、手動による作業負担の軽減に役立ちます。アクション規則は、カメラパトロールやI/Oモジュールなど、機能と組み合わせることができます。また、カメラ接続の切断や改ざんなど、さまざまな監視システムイベントの状態を通知することもできます。

アクション規則リストの設定

[リスト]タブでは、すべてのアクション規則を管理できます。



スケジュール済みのアクション規則の設定については、前の「PTZコントロールとアクション規則を使用したスケジュール済みパトロールの設定」セクションで既に示したため、以下では、例としてトリガー済み規則の追加を選択します。

トリガーされたアクション規則

トリガーされたアクション規則を追加するには：

- 1 [アクション規則]>[リスト]に移動し、[追加]をクリックします。
- 2 [情報]ステップで、名前を入力し、[規則タイプ]を[作動済み]に設定し、[アクションタイプ]から[中断可能]または[中断不可]を選択します。
 - ・ **中断可能**：最初にトリガーされたアクション規則に代わり、新しくトリガーされたアクション規則が実行されます。
 - ・ **中断不可**：この規則は、他のアクション規則を無視し、最初にトリガーされたアクション規則を完了するまで実行し続けます。
- 3 [規則タイプ]から[トリガー済み]を選択し、[次へ]をクリックして続行します。

Add Action Rule Wizard ×

Information

Name:

Rule type: ⓘ

Action type: ⓘ

- 4 **【イベント】**ステップで、**【設定】**と**【イベント】**を構成します。イベントをほかにも設定する場合は、**【追加】**をクリックします。**【削除】**をクリックして、キャンセルするイベントを選択します。
- 5 **【次へ】**をクリックして続行します。

Add Action Rule Wizard ×

Event

Event source:

Device:

Event:

Trigger type:

^ Event 2

Event source:

Device:

Event: ⓘ

Trigger type:

- 6 **【アクション】**ステップでは、**【アクションデバイス】**、**【サーバー】**、**【デバイス】**、**【アクション】**パラメータを構成します。アクションをほかにも追加するには**【追加】**をクリックし、キャンセルするには**【削除】**をクリックします。
- 7 **【次へ】**をクリックして続行します。

Add Action Rule Wizard

Action

Add Delete

^ Action 1

Action device:

Device:

Action:

^ Action 2

Action device:

Device:

Action:

Times:

Interval:

Previous Next Cancel

8 スケジュールを設定し、**[終了]**をクリックして完了します。

Add Action Rule Wizard

Schedule

Active Delete

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
Sun																								
Mon																								
Tue																								
Wed																								
Thu																								
Fri																								
Sat																								

Previous Finish Cancel

詳細と制約事項については、Surveillance Station の [\[ヘルプ\]](#) > [\[アクション規則\]](#) > [\[リスト\]](#) を参照してください。

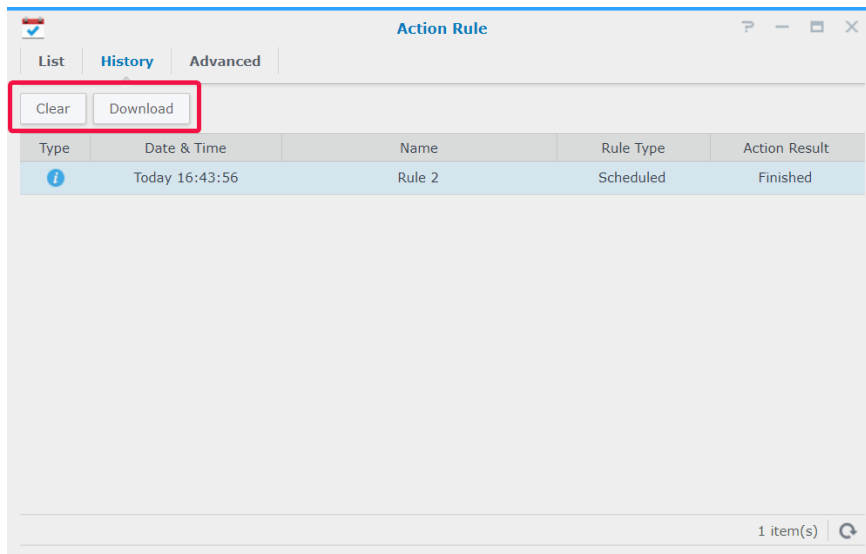
アクション規則履歴の追跡

[履歴] タブでは、自動生成されたログを表示、クリア、およびダウンロードできます。トリガーされたアクション規則に対して、Surveillance Station は毎回ログを生成します。スケジュールされたアクション規則に対しては、Surveillance Station はスケジュールの開始時と終了時の両方でログを生成します。

ログタイプ、録画回数、アクション規則名、アクション規則のタイプ、アクション結果が表示されます。**[アクション結果]** に表示される状態は 4 つあります。

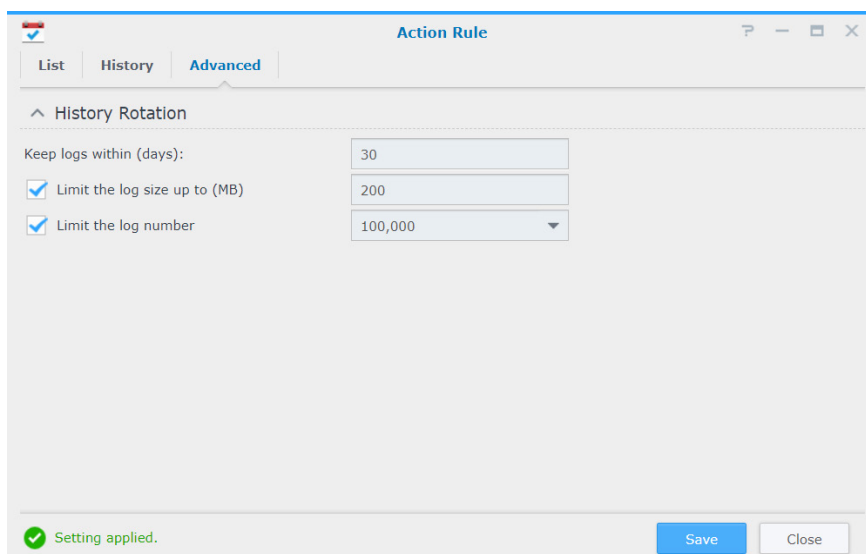
- ・ **完了しました** : 指定された設定に従って、アクション規則が正常に実行されました。

- ・ 失敗：指定された設定に従うと、アクション規則の実行ができませんでした。
- ・ 中断：[ライブビュー]で同じアクションを実行する別のユーザー、または同じアクションを実行する新しくトリガーされた別のアクション規則により、最初にトリガーされたアクション規則が中断されました。
- ・ 拒否：[ライブビュー]で同じアクションを実行する別のユーザー、または同じアクションを実行する別の中断できないアクション規則により、最初にトリガーされたアクション規則が拒否されました。



アクション規則の保存の変更

[詳細設定] タブで、ローテーションルールをニーズにできるだけ合うように調整できます。日数、ファイルのサイズ、ファイル番号によるルールを設定できます。



Archive Vault

[Archive Vault] では、アーカイブ化タスクの管理や、他サーバーから Synology デバイスへの録画の転送を行うことができます。この章では、タスクの追加と編集の手順を完全に示します。

アーカイブ化タスクの構成

アーカイブ化タスクの追加

- 1 [Archive Vault] を起動し、[追加] をクリックします。
- 2 名前を入力します。
- 3 [タスクタイプ] ドロップダウンメニューから [実行をスケジュール] または [1 回限りの実行] を選択し、[次へ] をクリックします。
 - ・ **実行をスケジュール**：アーカイブ化タスクを定期的に行います。
 - ・ **1 回限りの実行**：アーカイブ化タスクが 1 回だけ実行されます。[実行時間] ドロップダウンメニューから、[直ちに実行] を選択して、アーカイブ化タスクを追加と同時に実行されるようにするか、または [指定の時間に実行] を選択し、アーカイブ化タスクを実行するタイミングを指定するかします。

The screenshot shows the 'Add Archiving Task Wizard' dialog box with the 'General' tab selected. Under 'Information', the 'Name' field is 'Task 1' and 'Task type' is 'Schedule Execution'. Under 'Task Execution Schedule', the 'Active' checkbox is checked and the 'Delete' button is visible. A calendar grid shows all days from Sunday to Saturday with all time slots (0-23) selected. At the bottom, the 'Next' button is highlighted with a red border, and the 'Cancel' button is also visible.

- 4 [ストレージ] ステップで [ストレージ設定] と [ローテーションルール] を調整し、[次へ] をクリックします。
 - ・ [管理] をクリックすると、[ストレージ] タブが開き、ストレージスペースを編集できます。
 - ・ アーカイブされた録画のディレクトリの名前を指定するには、[アーカイブフォルダ名をカスタマイズする] にチェックマークを付けます。

Add Archiving Task Wizard

Storage

Storage Settings

Archiving storage: surveillance (Volume 1) Management

Customize archive folder name Task 1

Recordings are located in /volume1/surveillance/@ArchiveVault/Task 1

Rotation Rules

Keep the files within (days): 30

Limit the archive folder up to (GB) 10

When space or time limit is reached: remove old archives

Previous Next Cancel

- 5 ソースサーバーを指定し、IPアドレス、ポート、ユーザー名、パスワードを入力します。
- 6 **[次へ]**をクリックして続行します。

Add Archiving Task Wizard

Source

You can add Surveillance Station as the source recording server for archiving tasks.

Archiving source: Remote Server

IP address: 10.11.50.200

Port: 5000 HTTPS

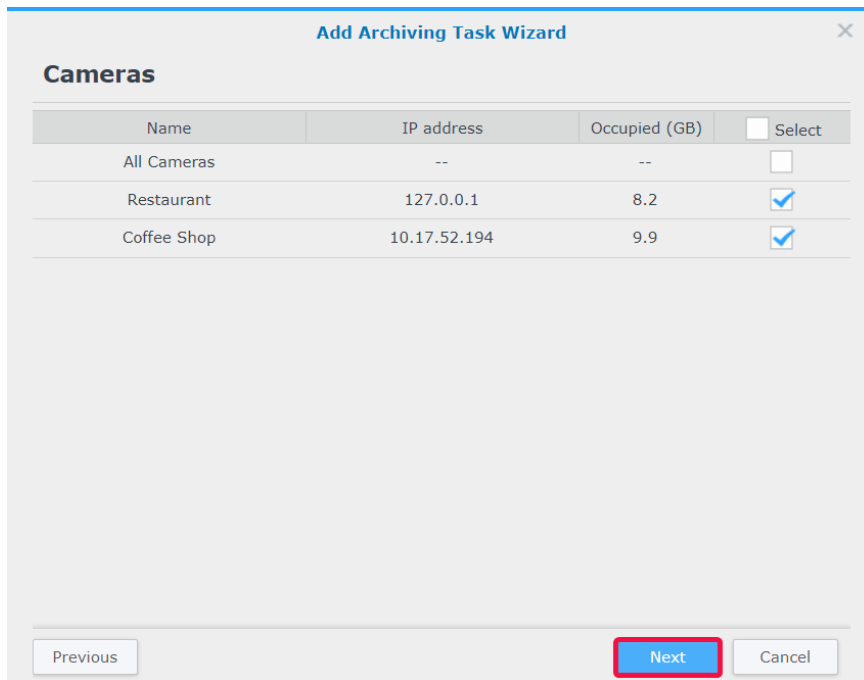
User name: admin

Password:

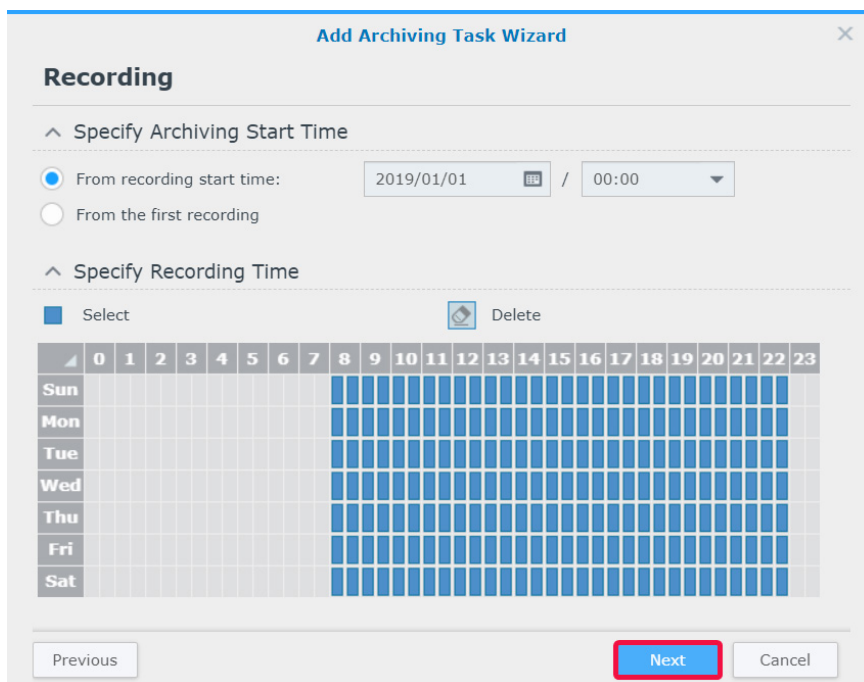
Test Connection

Previous Next Cancel

- 7 希望するカメラのチェックボックスにチェックマークを付け、**[次へ]**をクリックします。



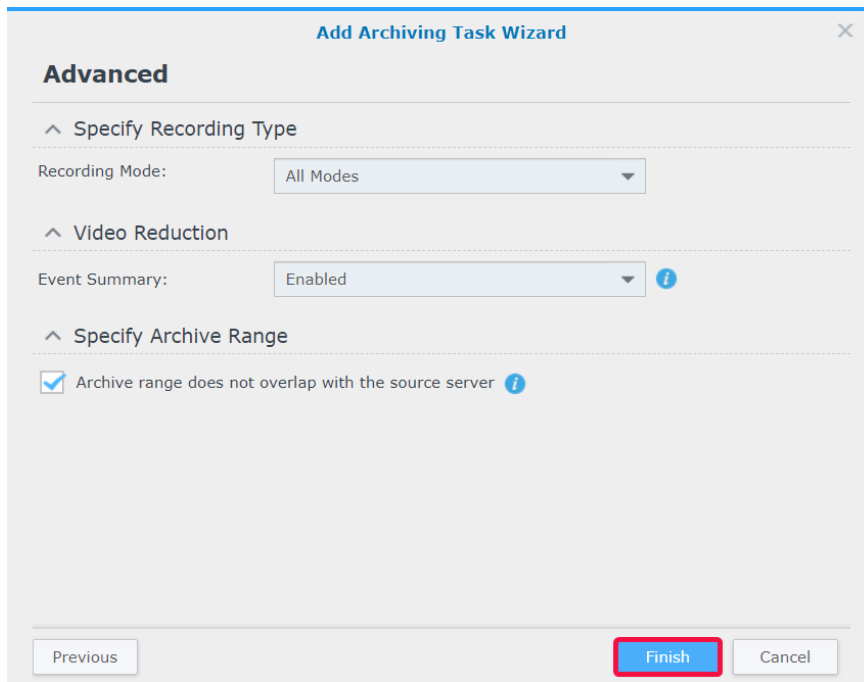
8 アーカイブの開始時間と録画時間を指定し、**[次へ]**をクリックします。



9 **[詳細設定]**ステップで、アーカイブの録画タイプを構成します。

- ・ **[録画タイプを指定]**で、録画をアーカイブするための録画モードを選択します。
- ・ **[ビデオ縮小]**で、録画のイベントクリップをアーカイブする場合は**[イベントの概要]**を有効にし、完全な録画ファイルを取得する場合は**[イベントの概要]**を無効にします。
- ・ **[アーカイブ範囲を指定]**で、**[アーカイブ範囲がソースサーバーとオーバーラップしていない]**を有効にします。このオプションを有効にすることで、ローテーションされかけているソースサーバーからの録画のみがアーカイブされます。ネットワーク帯域幅の問題を回避するため、アーカイブプロセスは1日前に開始します。したがって、ソースサーバーのアーカイブ範囲の最終日とオーバーラップします。

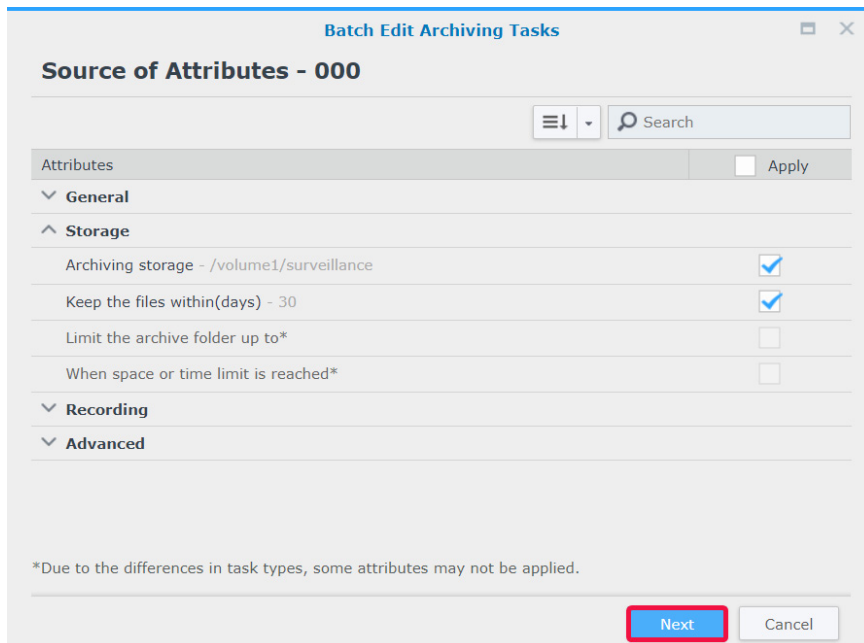
10 **[終了]**をクリックして完了します。



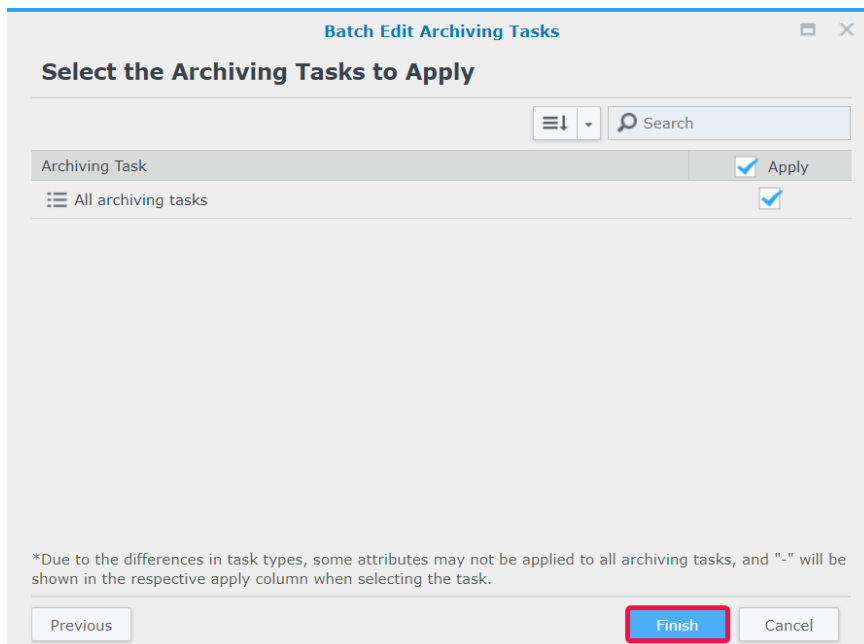
タスクの一括編集

タスクを編集するには、ターゲットタスクを選択し、**[編集]**をクリックします。また、**[一括編集]**機能を使用して複数のタスクを編集することもできます。

- 1 **[Archive Vault]** を起動し、属性を他のアーカイブ化タスクに適用するアーカイブ化タスクを選択します。
- 2 **[編集]** > **[一括編集]** をクリックします。
- 3 **[属性のソース]** ステップで、他のアーカイブ化タスクに適用する属性の **[適用]** チェックボックスにチェックマークを付け、**[次へ]** をクリックします。



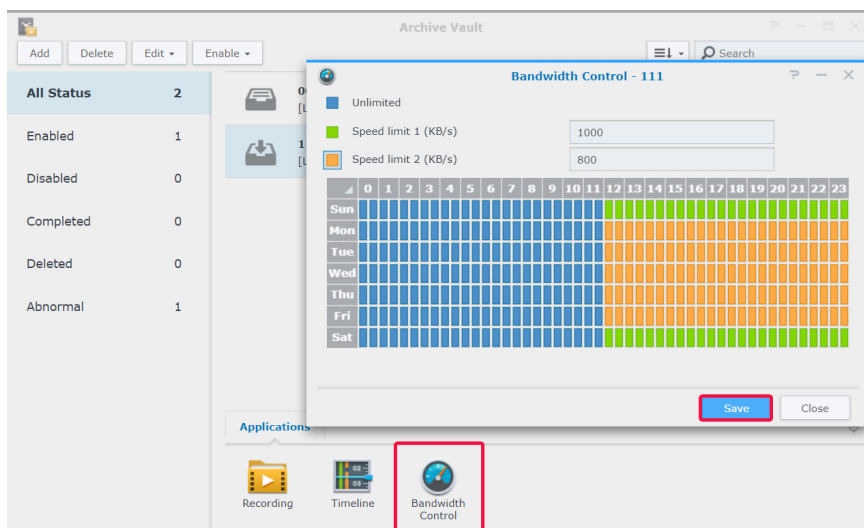
- 4 [適用するアーカイブタスクの選択]ステップで、[適用]チェックボックスにチェックマークを付けて、選択した属性をアーカイブ化タスクに適用します。[終了]をクリックして完了します。



アーカイブ化タスクの帯域幅コントロールの構成

[帯域幅コントロール]では、現在のアーカイブ化タスクの帯域幅コントロールスケジュールを表示および構成できます。[帯域幅コントロール]には、デフォルトである無制限の帯域幅のほかに、速度制限が2セット用意されています。希望する帯域幅を定義したり、スケジュールを修正したりできます。

- 1 [帯域幅コントロール]を起動します。
- 2 帯域幅制限を構成：[速度制限1]および[速度制限2]から、帯域幅制限 (KB/秒単位) を指定します。
- 3 スケジュールを構成：速度制限のセットを選択し、グリッドのセルを選択してこの速度制限が有効化されるタイミングを決定します。特定の日をクリックすると、その日1日が選択されます。時間をクリックすると、その時刻が選択されます。
- 4 [保存]をクリックして完了します。



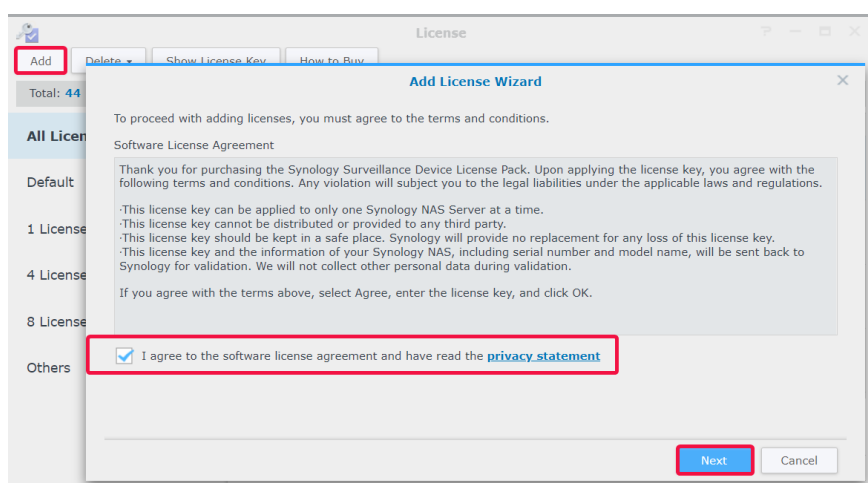
ライセンス

[ライセンス]では、インストール済みの監視デバイスライセンスと、既に表示しているライセンスの数を表示できます。この章では、新しいライセンスを Surveillance Station に追加するプロセスについて紹介します。

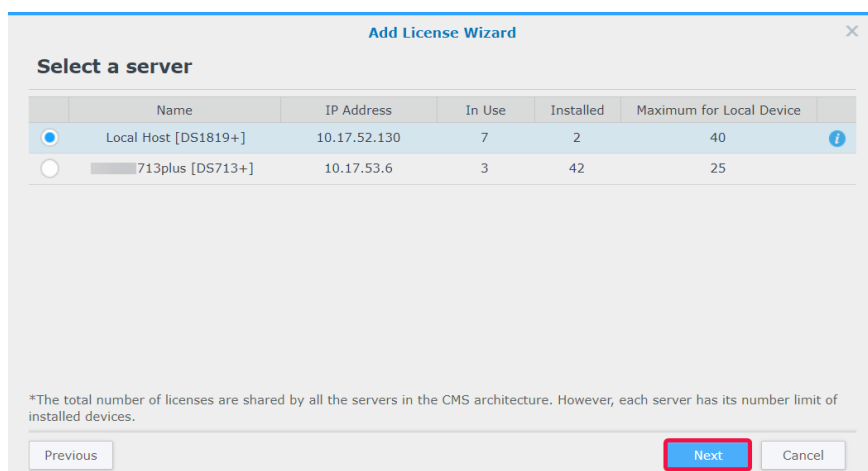
Surveillance Station へのライセンスのインストール

デフォルトでは、Synology NAS 製品には無償ライセンスが2つ、NVR 製品には実際のモードに応じてプレインストールされたライセンスが複数、それぞれ付属します。

- 1 Surveillance Station の [メインメニュー] > [ライセンス] に移動します。
- 2 [追加] をクリックします。合意書を読んだ後、[同意] チェックボックスにチェックマークを付け、[次へ] をクリックします。



- 3 監視デバイスライセンスの追加先となるサーバーを選択し、[次へ] をクリックします。



- 4 ライセンス キーを入力するか貼り付けます。キーを追加または削除するには、[+] または [-] を使用します。

5 **[完了]** をクリックしてライセンスのインストールを完了します。

Add License Wizard

Your license will be sent back to Synology for validation. Please make sure your Synology NAS is connected to the Internet.

Enter the license key:

01. 12345 - 67891 - 01112 - 13141 -

02. 98765 - 43210 - 98765 - 43210 - **- +**

*You can paste more than one license key here.

Previous **Finish** Cancel

6 ライセンスを追加したら、**[ライセンス]** ページに戻って各ライセンスの詳細や状態を確認できます。

License

Add Delete Show License Key How to Buy

Total: 34 Used: 11 Available: 23

All Licenses	5	License Key	License Num...	Install Date	Expiration Date	Source
Default	1	Default License	2	-	Infinite	-
1 License Number(s)	0	HTWYC-*****-DHMBB	8	2018/07/11	Infinite	Local Host
4 License Number(s)	0	WDD6J-*****-GR6QY	8	2018/11/05	Infinite	Local Host
8 License Number(s)	4	H7HH7-*****-RKP3Y	8	2018/11/05	Infinite	Local Host
Others	0	J4VP3-*****-4TFVM	8	2018/11/05	Infinite	Local Host

5 item(s)

- ライセンスをオフラインで管理する必要がある場合は、**DS cam** をインストールし、それにログインして操作します。完全な手順については、「[監視デバイスのライセンスをオフラインでインストールまたは削除できますか?](#)」を参照してください。
- ライセンスを別の Synology デバイスに移行する場合は、そのライセンスを現在のデバイスから削除し、希望する NAS/NVR にインストールしてください。

ライセンスの購入

IP カメラ、I/O モジュール、AXIS Door Controller、取引デバイスなど、監視デバイスを追加する場合は、追加のライセンスを購入できます。

詳細については、「[Surveillance デバイス ライセンス パック](#)」を参照してください。

注意： プレインストールされたライセンスも、Surveillance デバイス ライセンス パックも、有効期限が切れることはありません。

CMS

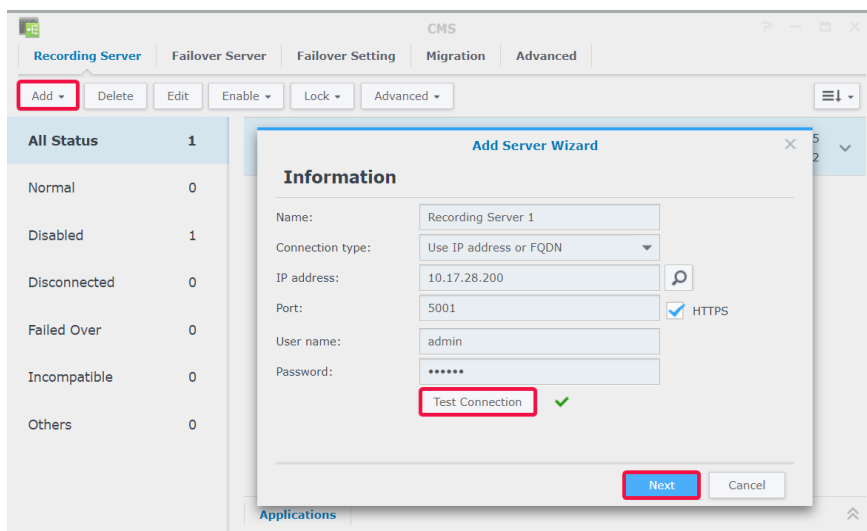
CMS（集中管理システム）では、Synology NAS/NVR をホストサーバーとして設定し、複数の Synology デバイスを記録サーバーとして追加することで、より大規模な監視ネットワークを形成できます。ホストサーバーは、他の記録サーバーによって管理されているカメラを監視するための中央インターフェイスとして機能します。また、複数の Synology デバイスをフェイルオーバーサーバーとして追加して、監視サービスの起動時間を最大限に延ばすことができます。

この章では、現在の Synology NAS/NVR をホストサーバーとして動作させていることを前提に、サーバーの管理とカメラのマイグレーションを行う方法について説明します。

CMS サーバーの操作

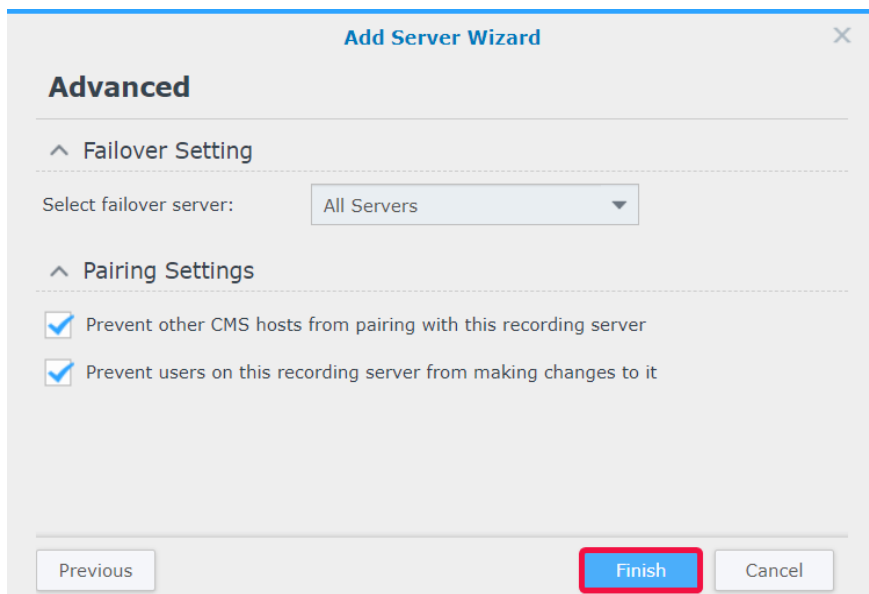
記録サーバーの追加

- 1 **[追加]** > **[サーバーを追加]** をクリックします。
- 2 記録サーバーの**名前**を入力し、**接続タイプ**を選択します。
- 3 接続タイプに応じて、記録サーバーの**[IP アドレス]**、**[ポート]**、または **[QuickConnect ID]** を入力します。また、**拡大鏡**ボタンをクリックして、同じローカルエリアネットワーク内の Synology 製品を検索することもできます。
- 4 admin のパスワードを入力します。
- 5 **[テスト接続]** をクリックして、サーバーが正しく設定されていることを確認し、**[次へ]** をクリックします。



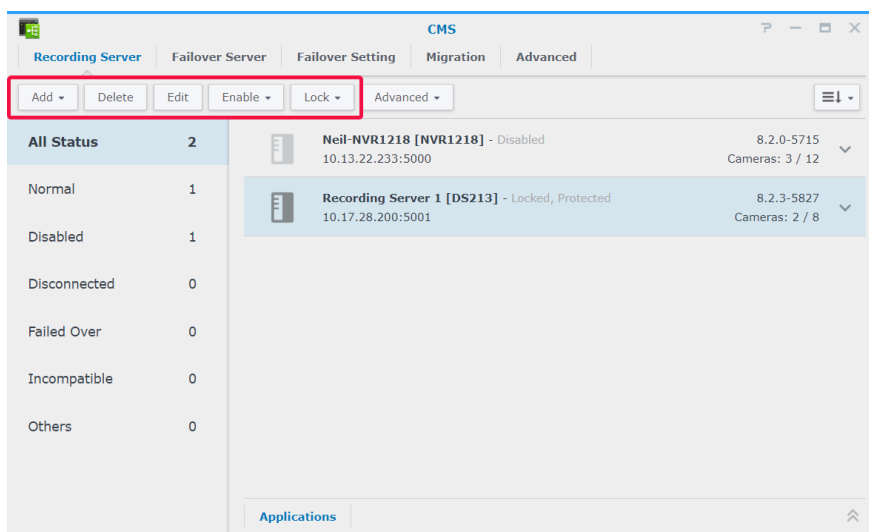
- 6 次のような詳細設定を編集します。
 - ・ **フェイルオーバー設定**：対応するフェイルオーバーサーバーを選択できます。手動でフェイルオーバーを開始する場合や、記録サーバーに異常が発生した場合、CMS は、現在の記録サーバーのサービスをその元の構成で引き継ぐフェイルオーバーサーバーを自動的に選択します。
 - ・ **他の CMS ホストがこの記録サーバーとペア化するのを阻止します**：ペア化された CMS ホストから記録サーバーをロックし、別の CMS ホストによって追加できないようにします。
 - ・ **この記録サーバーのユーザーが変更を加えるのを阻止します**：記録サーバーの設定へのアクセスを、ユーザーがログイン後に操作できないようにすることで制限します。記録サーバーの **admin**、または **administrators** グループに属するユーザーのみが、**[詳細設定]** ページにアクセスして、そこで後からこのオプションを変更できます。管理者の権限を持たないユーザーは、ログイン後に設定の表示および変更を行うことはできません。

7 [終了]をクリックして完了します。



サーバー展開の管理

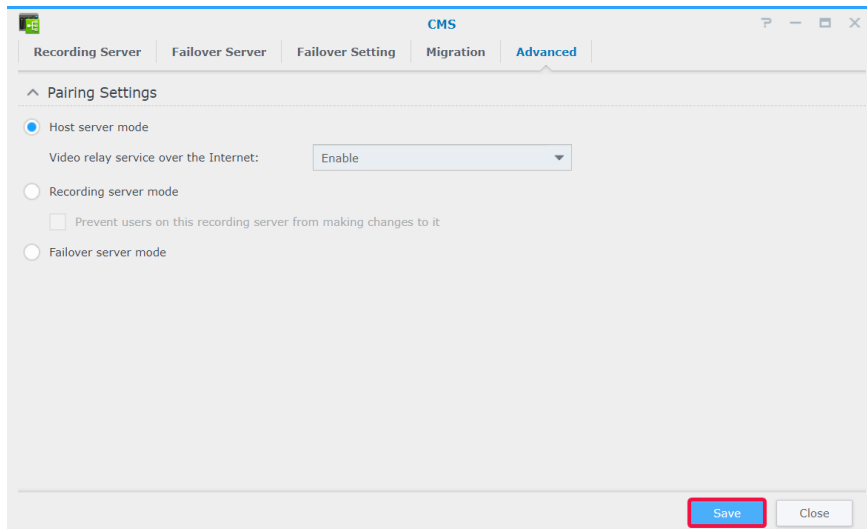
正常に追加された記録サーバーは[記録サーバー]タブにリストされ、そこで編集、ロック、無効化、削除などアクションを実行して、監視環境に対応できるようにすることができます。



ホストサーバーの操作モードは、[詳細設定]タブで変更できます。

- ・ **ホストサーバーモード**：中央監視システムに別のドメインからアクセスすることが必要な可能性がある場合は、[インターネットを介して自動的にビデオリレー]を[有効]に設定します。
- ・ **記録サーバーモード**：[この記録サーバーのユーザーが変更を加えるのを阻止します]を選択すると、管理者権限のないユーザーがログイン後に設定を表示および変更できなくなります。
- ・ **フェールオーバーサーバーモード**：サーバーをこのモードに切り替えると、このサーバー上の構成、録画、ライセンスがクリアされます。

注意：[フェールオーバーサーバーモード]に切り替える前に、データをバックアップし、ライセンスキーのセキュリティを確保してください。

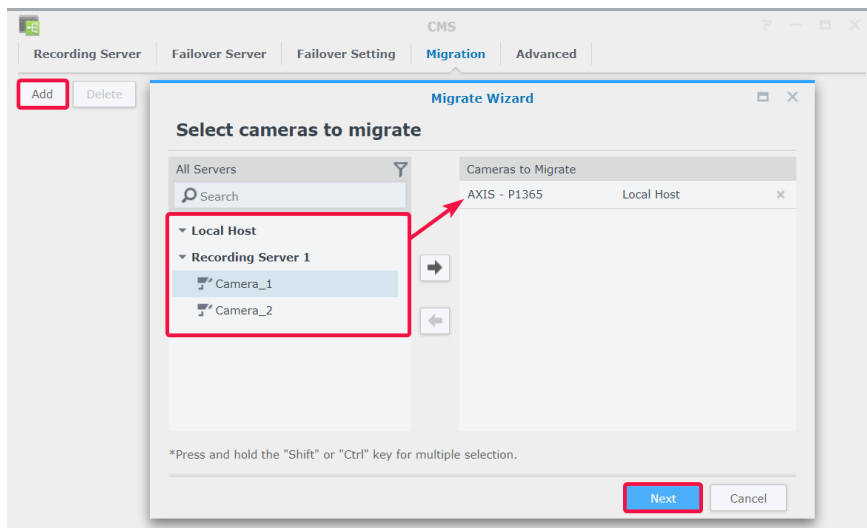


カメラのマイグレーション

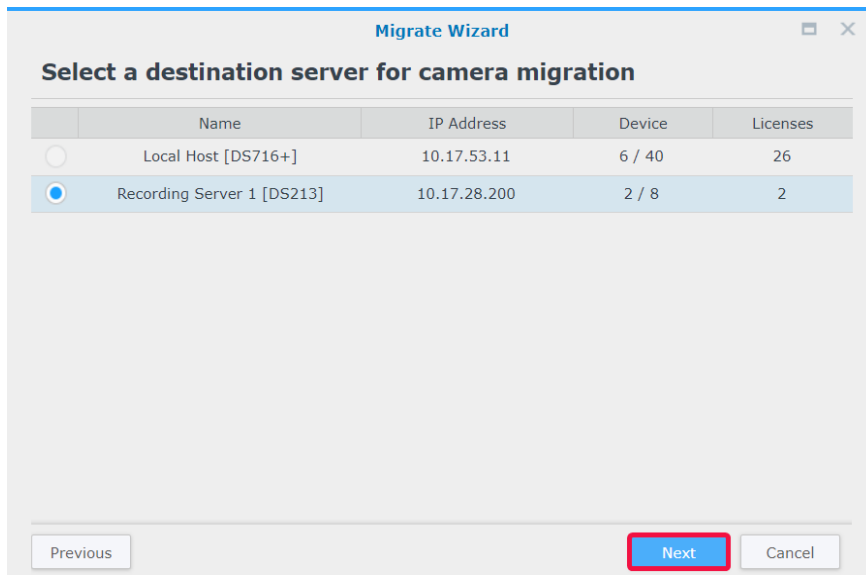
中央管理システムを設定すると、異なるサーバーから接続されている IP カメラを他のサーバーにマイグレートできます。

カメラのマイグレーションを実行するには：

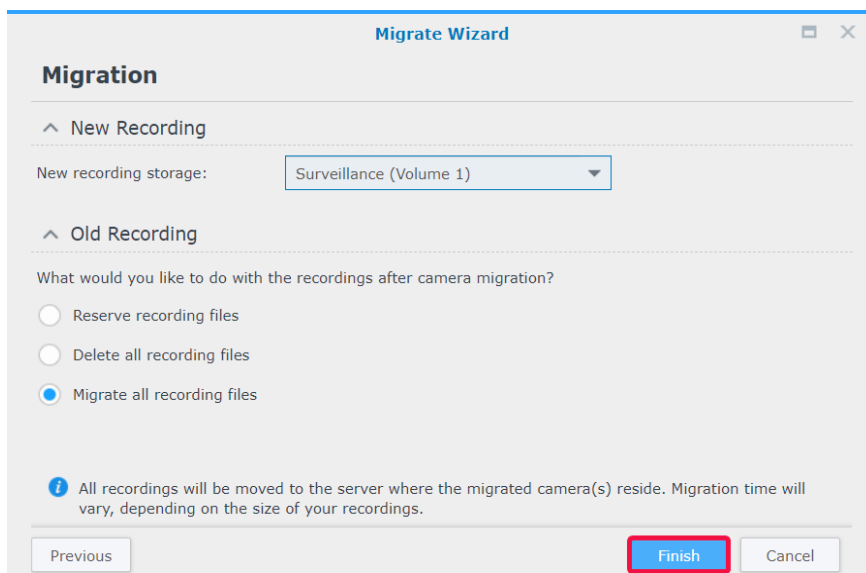
- 1 **[追加]** をクリックします。
- 2 ドラッグまたは矢印ボタンを使用して、マイグレートするカメラを左パネルから右パネルへ移動し、**[次へ]** をクリックします（**[フィルタ]** アイコンをクリックし、Synology サーバーを選択すると、カメラを迅速に検索できます）。



- 3 マイグレート先となるサーバーを選択します。



- 4 **[マイグレーション]**ステップで、今後の録画に使用するストレージを選択し、現在の録画を保持するか、削除するか、カメラとともに移動するかを指定します。
- 5 **[終了]**をクリックします。マイグレーションが直ちに開始され、**[ステータス]**列で進捗状況を確認できます。



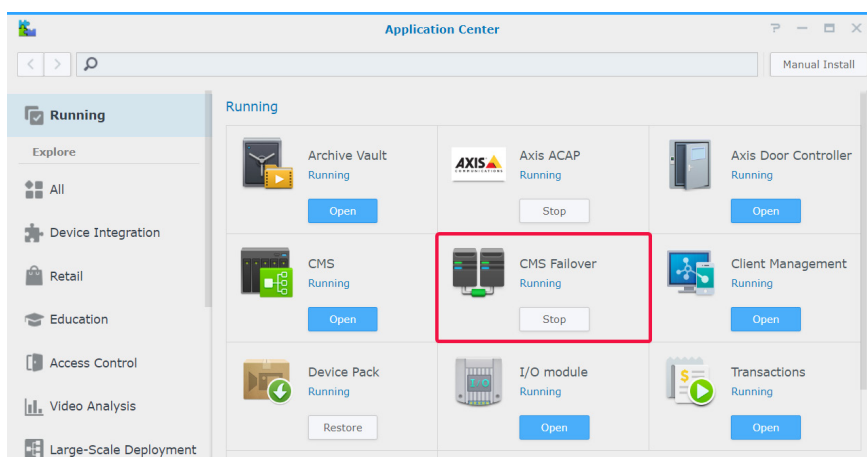
詳細については、Surveillance Station の [\[ヘルプ\]](#) > [\[CMS\]](#) の該当する説明を参照してください。

CMS フェイルオーバー

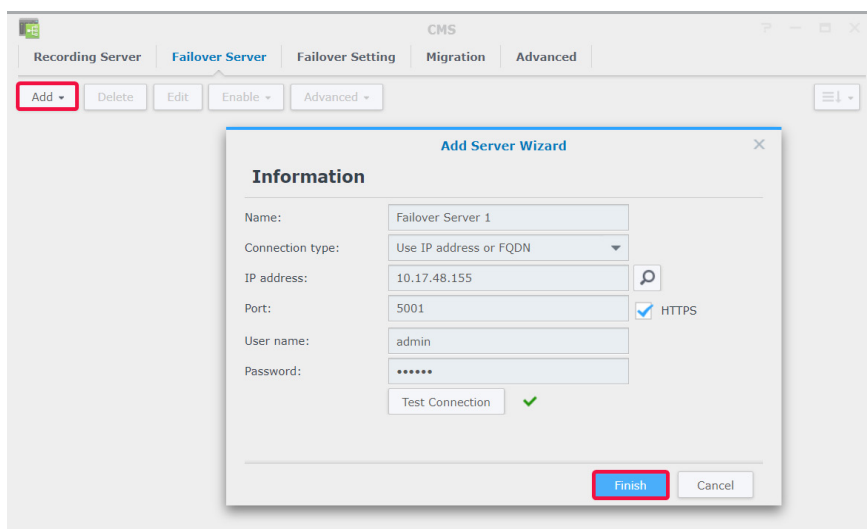
監視サービスの起動時間を最適化するために、記録サーバーが停止した場合にサービスを引き継ぐフェイルオーバーサーバーを追加できます。また、記録サーバーが動作を再開したときにフェイルオーバー状態中のサービスをフェールバックする方法も指定できます。

フェイルオーバーサーバーの追加

- 1 [メインメニュー]>[アプリケーションセンター]に移動して、[CMS フェイルオーバー]が[ランニング]であることを確認します。

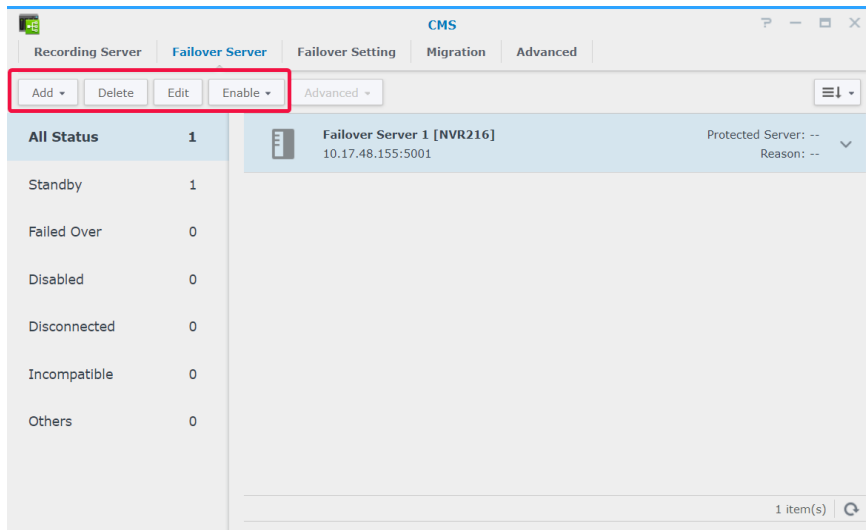


- 2 [CMS]>[フェイルオーバーサーバー]に移動し、[追加]>[サーバーを追加]をクリックします。
- 3 記録サーバーの**名前**を入力し、**接続タイプ**を選択します。
- 4 接続タイプに応じて、記録サーバーの**[IP アドレス]**、**[ポート]**、または**[QuickConnect ID]**を入力します。また、**拡大鏡**ボタンをクリックして、同じローカルエリアネットワーク内の Synology 製品を検索することもできます。
- 5 admin のパスワードを入力します。
- 6 **[テスト接続]**をクリックして、サーバーが正しく設定されているかどうかを確認します。
- 7 **[終了]**をクリックして完了します。

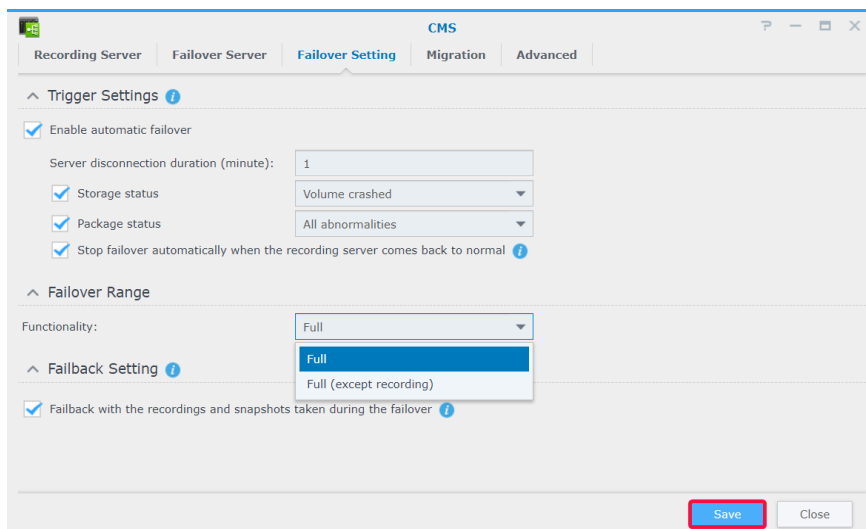


フェイルオーバー設定の管理

追加されたフェイルオーバーサーバーは[フェイルオーバーサーバー]タブで管理できます。



[フェイルオーバー設定]タブで、チェックマークを付けて、下にリストされている条件が満たされたときの**自動フェイルオーバーを有効**にし、[フェイルオーバー範囲]を設定し、フェイルオーバー状態中に撮影された録画やスナップショットを復元するかどうかを指定します。



詳細については、Surveillance Stationの[ヘルプ]>[CMS]の該当する説明またはホワイトペーパーを参照してください。

その他の機能

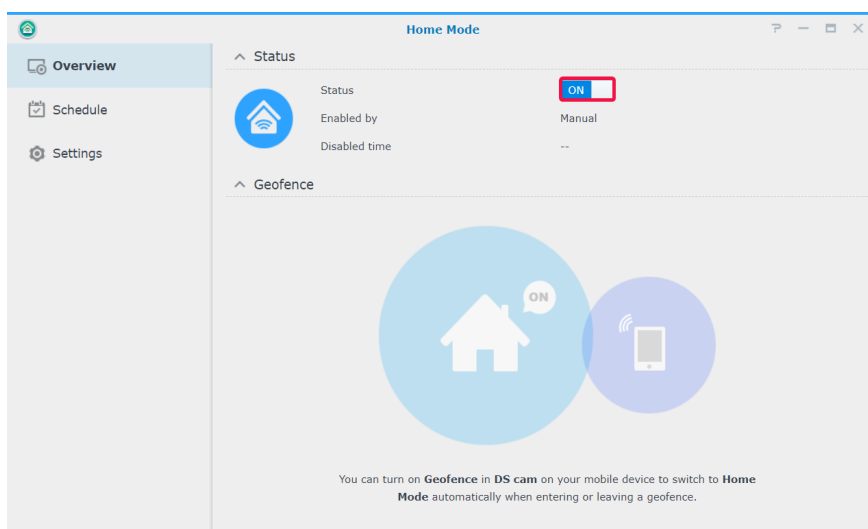
Surveillance Station には、録画、通知、ストリームプロファイル、アクション規則など、監視機能を効率良く管理および統合するためのさまざまなアプリケーションも用意されています。この章では、監視システムの管理に役立つ汎用的に適用できる機能についていくつか紹介します。

Home Mode

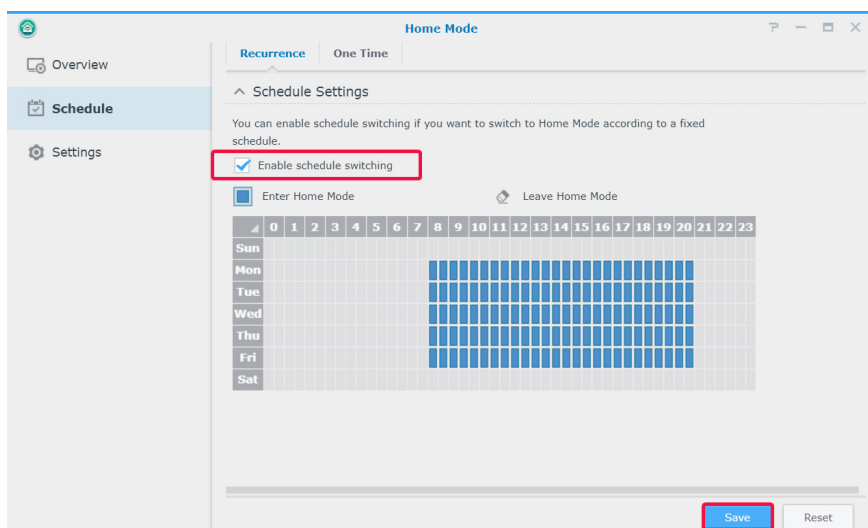
あなたが現場にいるかどうかによって、Surveillance Station の設定は異なってきます。例えば、カメラは絶え間なく録画し、そしてあなたがいるときには通知を送信するのを止めますが、あなたがいったん遠くに離れると、カメラは動作検出でビデオを録画し、通知の送信を再開します。**Home Mode** では、録画、通知、ストリームプロファイル、アクション規則の設定をカスタマイズして、さまざまな環境のニーズを満たすことができます。

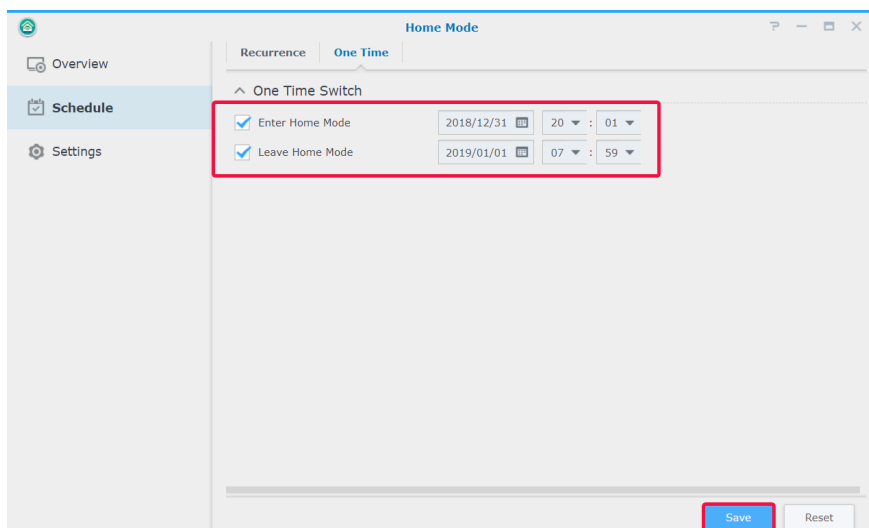
Home Mode の有効化

Home Mode は、[概要] タブから手動で有効化することも、**DS cam** を介して Geofence 位置情報によって有効化することもできます。**Geofence** は、現在地が現場かどうかを検出し、その結果に基づいて **Home Mode** に自動的に切り替わります。

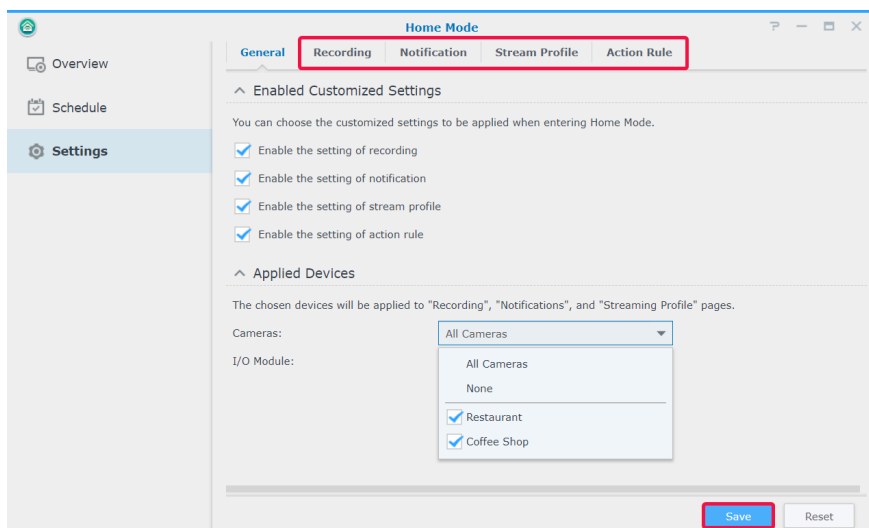


[スケジュール]>[復帰]から、**Home Mode** に入るための決まったスケジュールを設定することも、[スケジュール]>[ワンタイム]から、1回だけのオンへの切り替えを実行することもできます。





[設定]で、[録画]、[通知]、[ストリームプロファイル]、[アクション規則]を該当するタブから変更し、どの設定のセットを有効にするかや、その設定をどのようなデバイスに適用するかを選択できます。



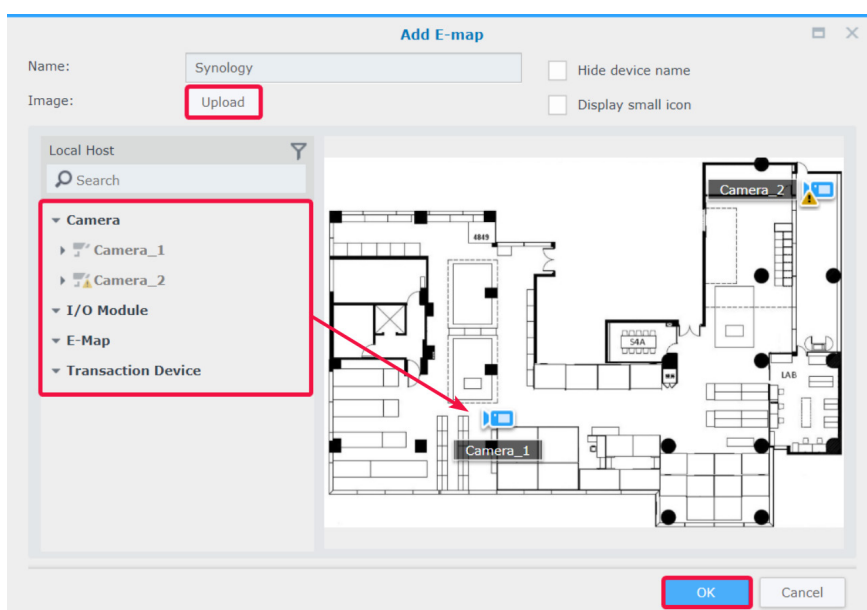
詳細については、Surveillance Station の [ヘルプ] > [Home Mode] を参照してください。

Eマップ

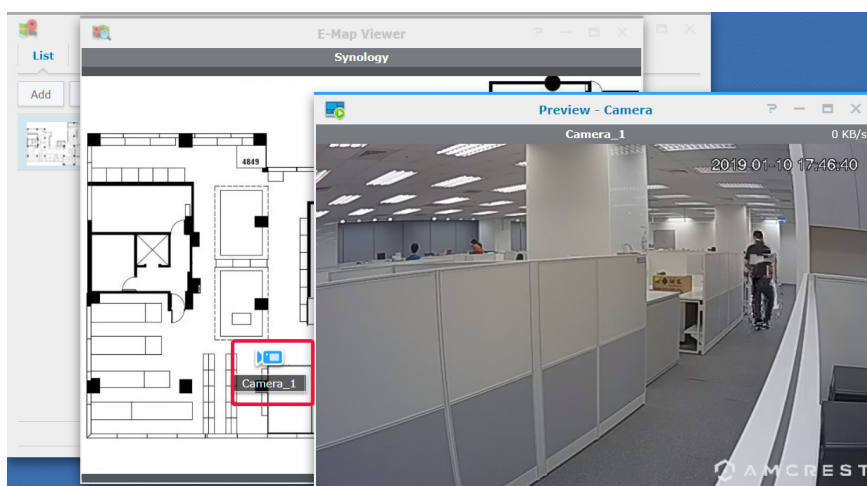
[Eマップ]を使用すると、周辺のマップをアップロードして監視機器の場所を表示できます。

地図を追加するには：

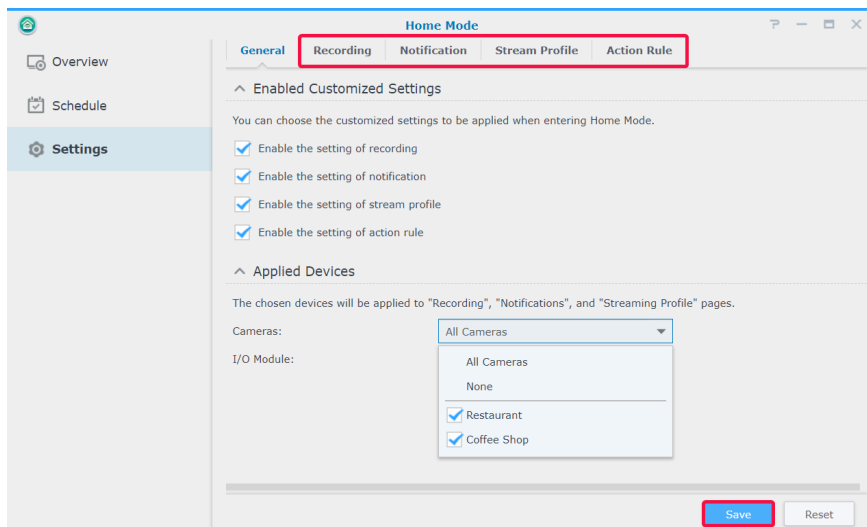
- 1 [Eマップ]>[リスト]に移動し、[追加]をクリックします。
- 2 名前を入力します。
- 3 [アップロード]をクリックして画像ファイルをアップロードします。アップロードが完了したら、画像が表示されます。
- 4 左パネルから、アップロードされたEマップ上に配置するデバイスのリンクをドラッグします。
- 5 アイテムの名前を非表示にする場合は、[デバイス名を非表示にする]にチェックマークを付けます。小さいアイコンを使用する場合は、[小さいアイコンで表示]チェックボックスにチェックマークを付けます。
- 6 [OK]をクリックして設定を適用します。



マップが作成されたら、サムネイルをクリックして[Eマップビューア]を開いたり、デバイスアイコンをクリックしてプレビューを確認したりできます。



[リスト]タブからEマップを管理したり、[詳細設定]に移動して表示の環境設定を設定したりできます。



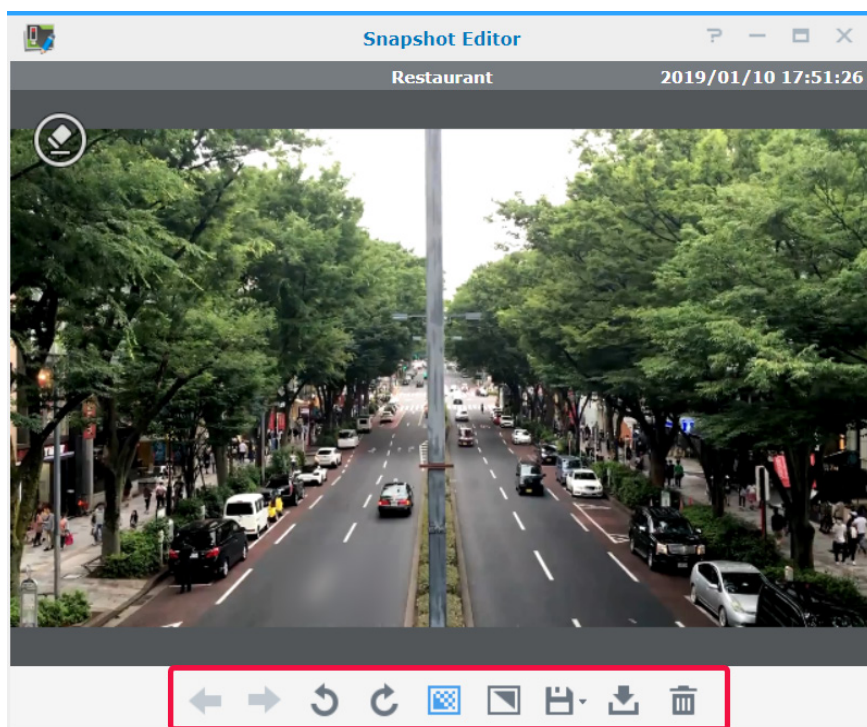
詳細については、Surveillance Station の [\[ヘルプ\]>\[Eマップ\]](#) の該当する説明を参照してください。

スナップショット

[スナップショット]を使用すると、プレーヤー（**[ライブビュー]**、**[録画]**、**[IPカメラ]**など）から撮影されたすべてのスナップショットを追跡および編集できます。

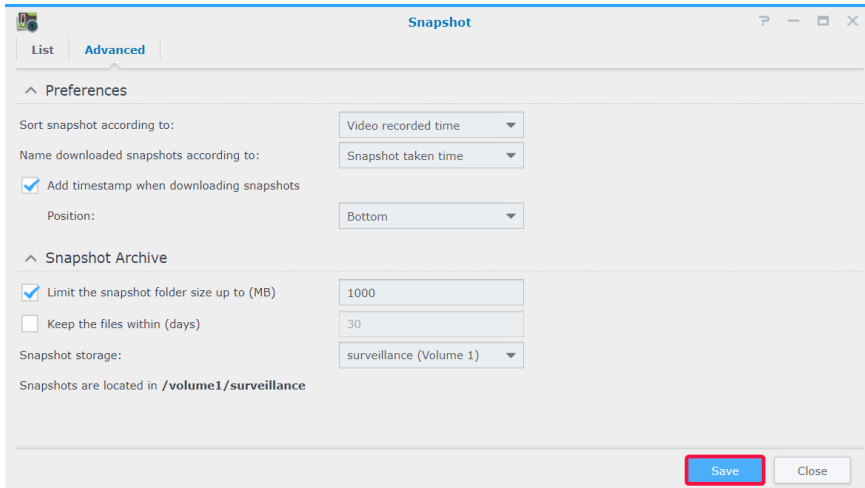
スナップショットを編集するには：

- 1 **[スナップショット]>[リスト]**に移動してスナップショットを選択し、**[編集]**をクリックします（スナップショットの撮影後に表示されるサムネイルをクリックして**[スナップショットエディタ]**を起動することもできます）。
- 2 アイコンを使用してスナップショットを編集します。



- 3 **[保存]**アイコンをクリックして保存します。

[詳細設定]タブには、スナップショットの分類、命名、表示およびアーカイブ規則を構成するためのオプションが用意されています。

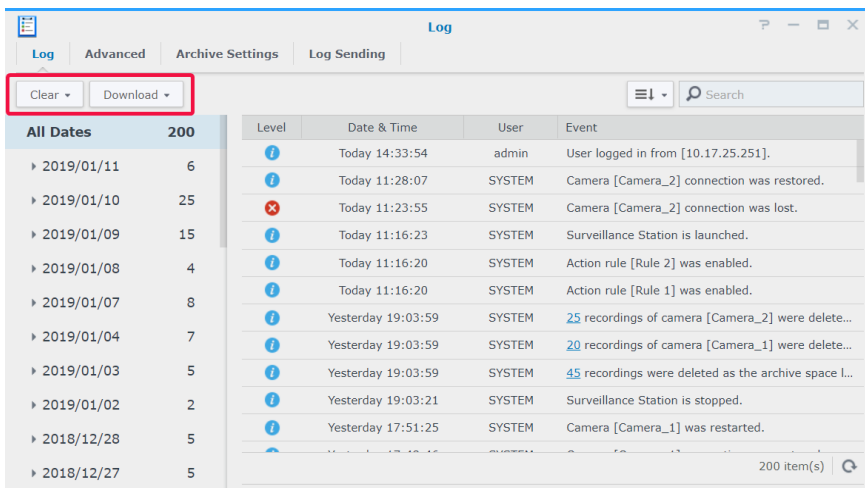


詳細については、Surveillance Station の [\[ヘルプ\]>\[スナップショット\]](#) の該当する説明を参照してください。

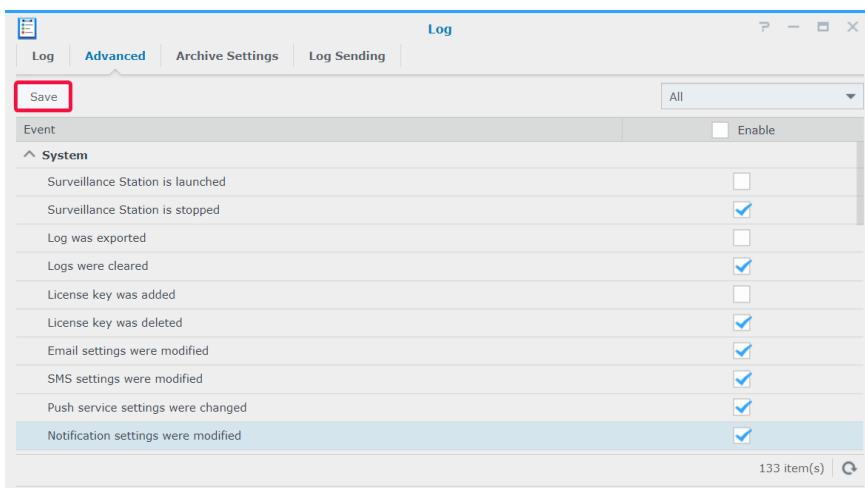
ログ

[\[ログ\]](#) アプリケーションを使用すると、ログメッセージを表示、クリア、ダウンロードできます。

[\[ログ\]>\[ログ\]](#) の左パネルから日付と時刻を選択すると、右パネルに詳細なリストが表示されます。ログを選択し、[\[クリア\]](#) および [\[ダウンロード\]](#) ボタンを使用して、ログを管理することもできます。



ログに書き込むイベントを指定するには、[\[ログ\]>\[詳細設定\]](#) に移動し、該当するチェックボックスにチェックマークを付けます。



ログのローテーションとアーカイブ規則は [**アーカイブの設定**] タブで変更できます。

The screenshot shows the 'Log' configuration window with the 'Archive Settings' tab selected. The 'Rotation Rules' section includes: 'Keep logs within (days):' set to 30; 'Limit the log size up to (MB):' checked and set to 200; 'Limit the log number:' unchecked and set to 100,000. The 'Storage Destination for Archives' section includes: 'Destination:' set to /volume1/Surveillance; 'Archive logs as text format in addition to default format:' unchecked; 'Compress log archives:' checked. 'Save' and 'Close' buttons are at the bottom right.

ログを syslog server に保存する場合は、[**ログ送信**] タブに移動し、[**syslog サーバーにログを送信**] にチェックマークを付け、必要な情報を入力します。

The screenshot shows the 'Log' configuration window with the 'Log Sending' tab selected. The 'Send logs to a syslog server' checkbox is checked and highlighted with a red box. Below it, the 'Server:' field is 10.17.30.200, 'Port:' is 514, 'Transfer protocol:' is TCP, and 'Log format:' is BSD (RFC 3164). There is also an 'Enable secure connection (SSL)' checkbox checked, with an 'Import certificate' button below it. A 'Send test log' button is also present. 'Save' and 'Close' buttons are at the bottom right.

詳細については、Surveillance Station の [**ヘルプ**] > [**ログ**] の該当する説明を参照してください。